

鹿児島県歴史資料センター黎明館
所蔵品目録(XIV) 文書(4)

Collection Catalogue (XIV) : Documents (4)
Kagoshima Prefectural Museum of Culture
REIMEIKAN
1997

鹿児島県歴史資料センター 黎明館

鹿児島県歴史資料センター黎明館 所蔵品目録(XIV) 文書(4)

Collection Catalogue (XIV) : Documents (4)
Kagoshima Prefectural Museum of Culture
REIMEIKAN
1997

鹿児島県歴史資料センター 黎明館

はじめに

鹿児島県歴史資料センター黎明館が収蔵している資料は、県内外の方々の積極的な御協力により、開館当初約3万6千点であったものが現在約7万9千点にのぼっています。

ここに、あらためて皆様方の御協力に対し厚く御礼申し上げます。

当館の資料については、広く県民や関係者の方々に活用されることを願って、これまで「美術・工芸」・「美術・工芸(2)」・「文書」・「文書(2)」・「文書(3)」・「産業(Ⅰ)」・「産業(Ⅱ)」・「歴史」・「歴史(2)」・「民俗」・「民俗(2)」・「考古」・「総記・記録・自然」の目録を発行してまいりました。

本年度は、所蔵品目録第14輯として、文書の部の第4巻を発行することにしました。この目録に収められた資料は、近世の日置島津家文書をはじめ、幕末維新时期から明治時代後半期にかけて近代日本の建設に活躍した郷土の人々の文書が中心をなしています。

この目録が、地域の文化向上の一助になれば幸いです。

平成9年3月

鹿児島県歴史資料センター黎明館
館長 今吉 弘

凡 例

1. この目録は、黎明館が平成8年12月1日現在で所蔵している文書資料について収録したもので、寄託品は除いた。
2. 資料は時代ごとにまとめ、登録番号順に並べた。ただし、一括して所蔵しているものについては家ごとにまとめ、登録番号順に並べた。
3. 資料の記載は、番号、資料名、数量、摘要、年代、大きさ、受入年・方法、台帳番号とした。
4. 資料の大きさは、センチメートル単位とし、縦×横で表記した。
5. 資料写真は、資料の中から適宜に抽出し解説文をつけた。解説文の漢字はできるだけ当用漢字に、変体仮名も平仮名に改めた。
なお、目録中の番号に○印を付したものは、写真資料として掲載したものである。

目 次

はじめに

凡 例

資料写真・解説文…………… 1～37

所蔵文書目録

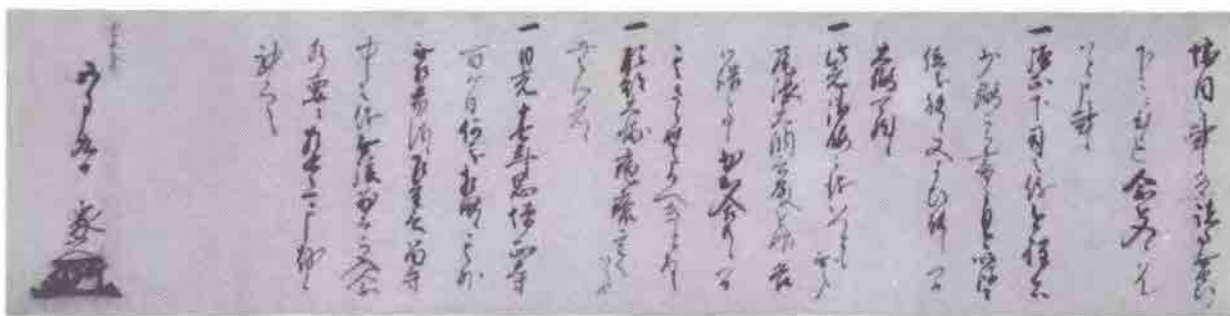
近 世…………… 41

明 治…………… 42

大正・昭和…………… 43～51

日置島津家文書…………… 52～53

木場貞長関係文書…………… 54～55



(17.9×128.0)

一 島津家久書状（日置島津家文書①）

猶々、今度者御暇も
程有間敷と存候処、
覚悟之外延々成様子、更難計候、
次我等事殊外草臥候間、
折角養生候、次第二可令
本復候、以上、
頃者其元之到来然々
無之候処、近日書面之
趣具令披見、先以何茂
息災之由、満足之至候、此方
無相易儀候間、可心安候、
一日光へ爲名代薩摩守
参詣候間、心安休息候、
一留守中何篇可被入
念事肝要候、答聞候
ハテの事候者、可被申越候、
一加藤豊後守殿出合之儀、
未とかくの事不相濟候、
一途相聞次第重而可遂
注進候、然者出水之儀

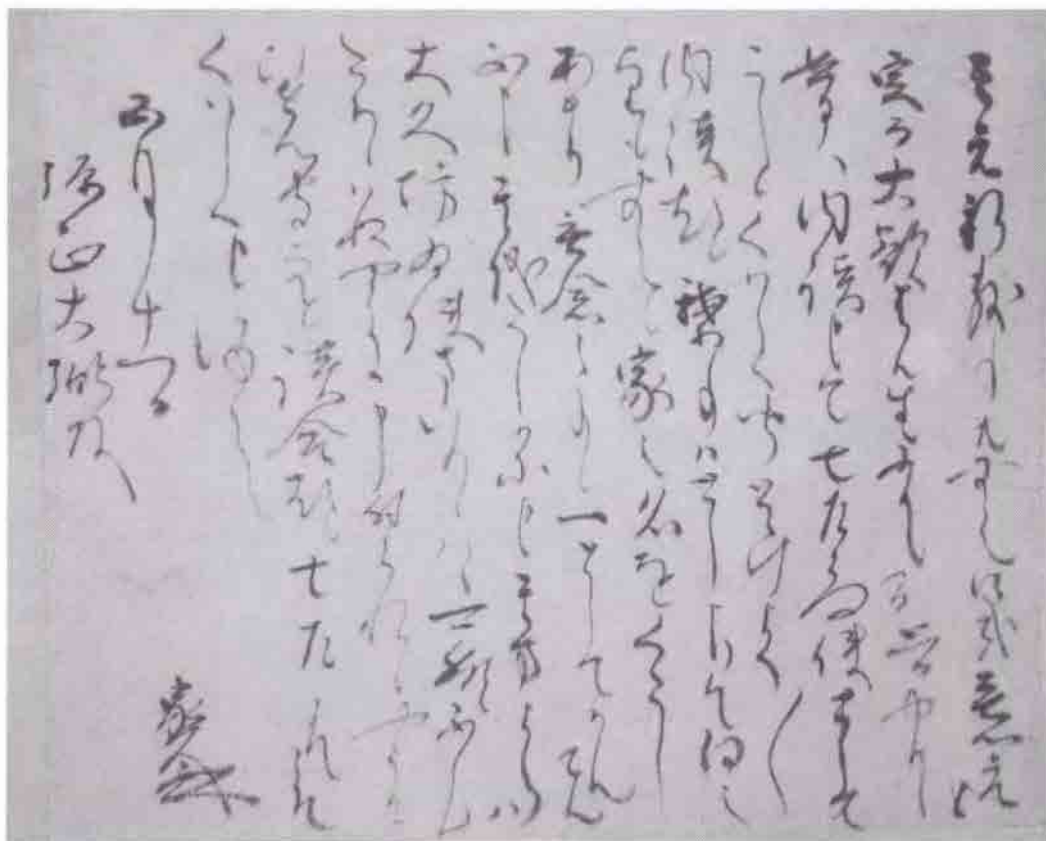
堺目之事候条、諸事無由断
下々、到迄念を入候ハテ
ハと申事候、
一彈正下司之儀、今程者
少弼と被書候、自今以後者
位茂能候、又よひ能候間、
大弼可然候、
一此元御暇之儀、いづとも無之候、
尾張大納言殿を始、各
御詰之事候、少出合共候間、
其さらせたるへきと存候、
一刑部大輔疱瘡重く候之由、
無心元候、
一日光十七年忌・増正寺
百ヶ日、何茂相濟候、其外
無相易儀候、乍重言、留守
中之儀無緩、別而被入念
肝要候、猶追々可申越候、
謹言、

「寛永九年」

五月九日

家久（花押）

彈正大弼殿



(18.0×22.0)

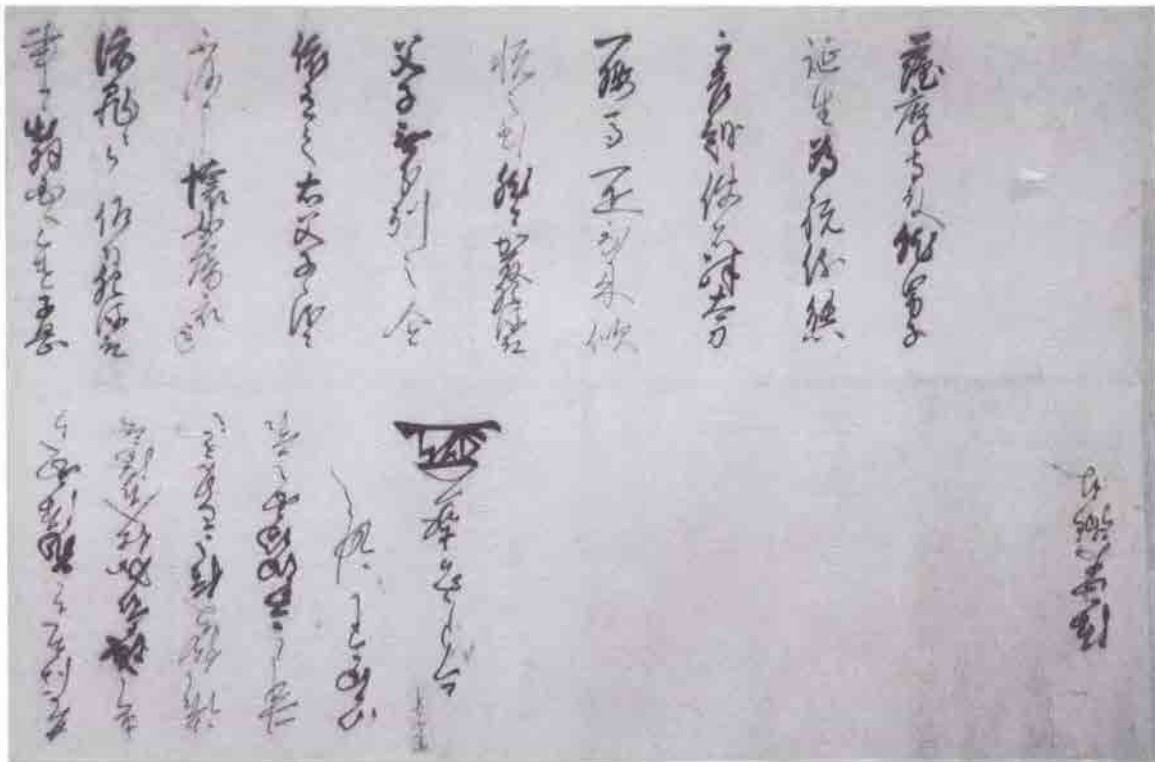
二 島津家久書状（日置島津家文書②）

其元新敷事共無之候哉、無心元候、
 定而大炊はん生にて候間、思ひやり候、
 兵部へ内談申候て七左衛門使として
 こし候、くハしく聞と、け、よくく
 内談尤候、我等事ハ、としより候て、何之
 望も無之候、家之名をくたし、
 あまり無念之事候、一としてかんでん
 不申、其儀たしかに申候、其方よりハ
 大久坊爲使まいり候ハ、可然候、ふしん
 たち候ハぬやうに、申付られ候やうに、
 ひせん守など談合尤候、七左にてこそ
 くハしく申候、謹言、

五月十一日

家久（花押）

彈正大弼殿

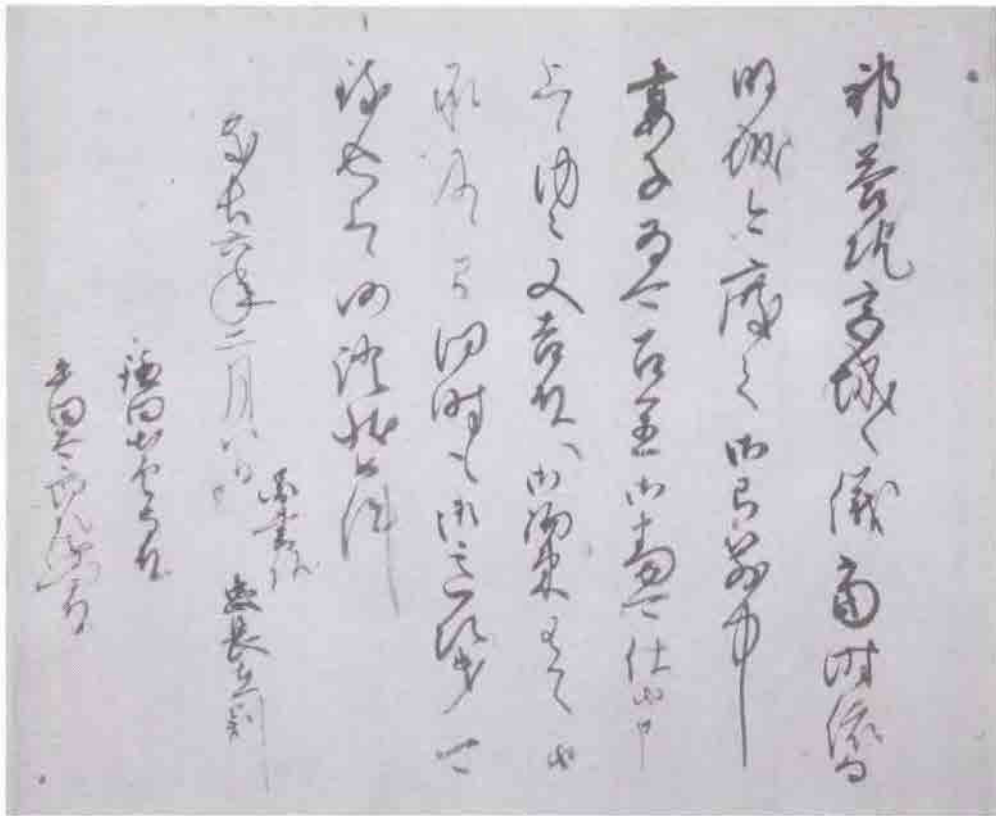


(35.3×52.9)

三 島津家久書状（日置島津家文書③）

薩摩守殿就男子
 誕生、爲祝儀態
 被差越使者、殊太刀
 一腰・馬一疋到來、欣
 悅之至候、然者加藤肥後殿
 父子、無分別之企
 依有之、右父子之儀者
 不及申、懷・女房衆迄
 流罪ニ被 仰付、肥後殿
 事者出羽国へ被遣、子息

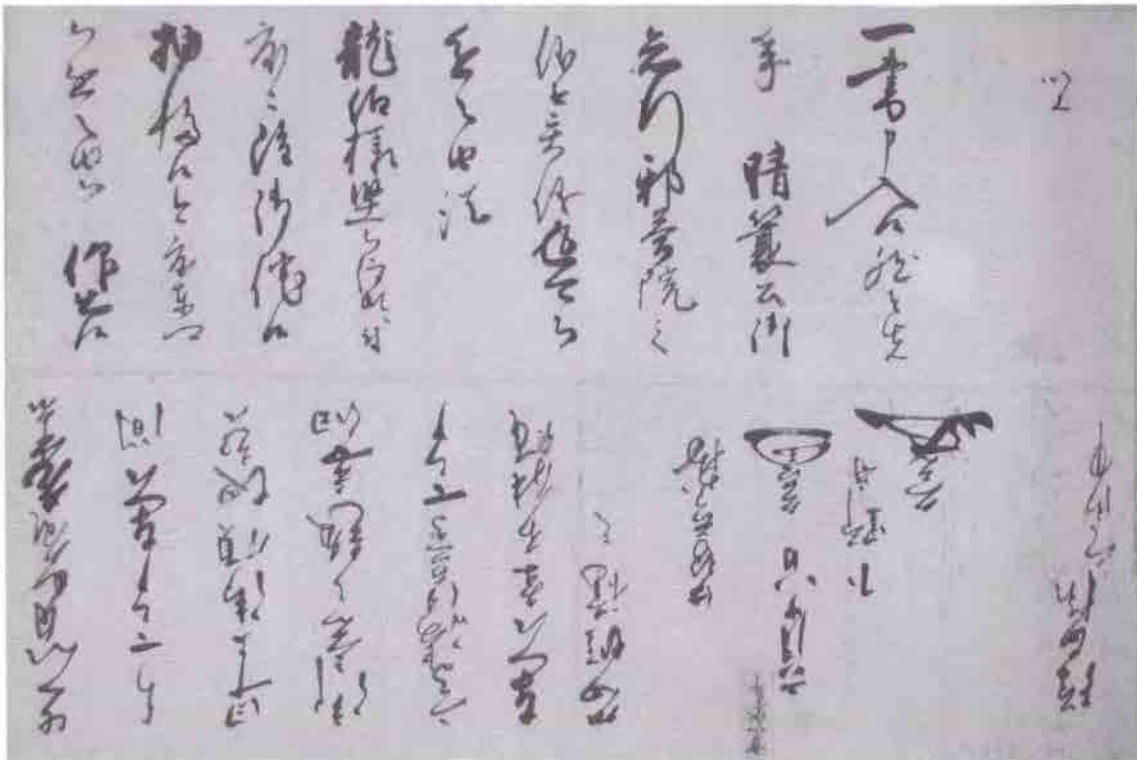
豊後殿者飛彈国へ被
 遣候、誠哀成仕合絶言
 語候、就夫、種々意分共有之
 事候、巨細帰国之節
 以面可申候、謹言、
 〔寛永九年〕
 六月五日 家久（花押）
 彈正大弼殿



(29.4×35.7)

四 島津忠長証状案（日置島津家文書④）

祁答院・宮城之儀當時依爲
 明城、今度之御弓箭中、
 妻子爲可召置、御番可仕由申
 上候、内々又吉殿へ御約束有之由、
 承及候間、何時も御意次第、可
 致返上候、仍證狀如件、
 慶長六年二月八日 圖書頭 忠長 在判
 鎌田出雲守殿
 平田太郎左衛門殿



(30.9×46.6)

五 島津久元・伊勢貞昌連署状（日置島津家文書⑤）

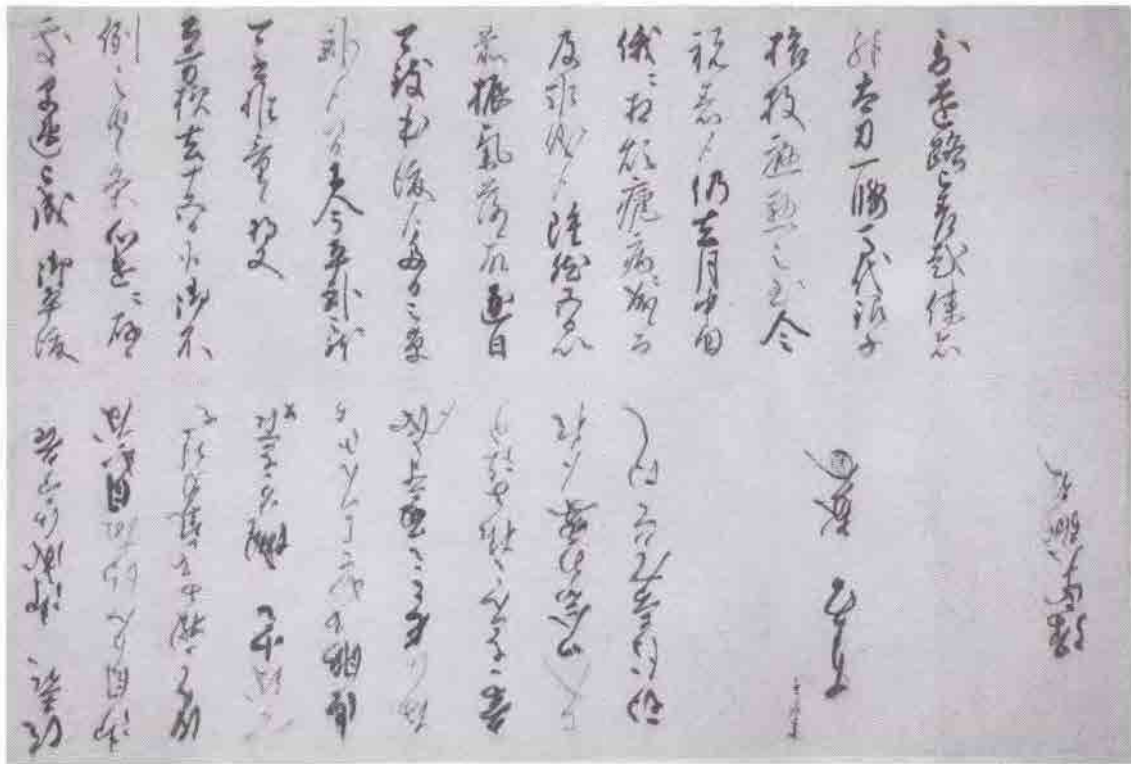
以上

一書申入候、然者先
 年 晴養公御
 知行所答院之
 儀、無異儀返可被
 進之由、從
 龍伯様堅被仰出候ニ付、
 度々雖御佗候
 押移候、今度東郷
 被進之由被 仰出候、

先以目出度候、老中衆
 より可被申達候間、
 早々御領地尤候、
 御意之趣、委細
 高崎伊豆守可被申
 達候条、不能詳候、
 恐惶謹言、

「寛永十年」伊勢兵部少輔
 六月十八日 貞昌（花押）
 下野守
 久元（花押）

彈正様
 人々御中



(35.6×53.0)

六 島津家久書状（日置島津家文書⑥）

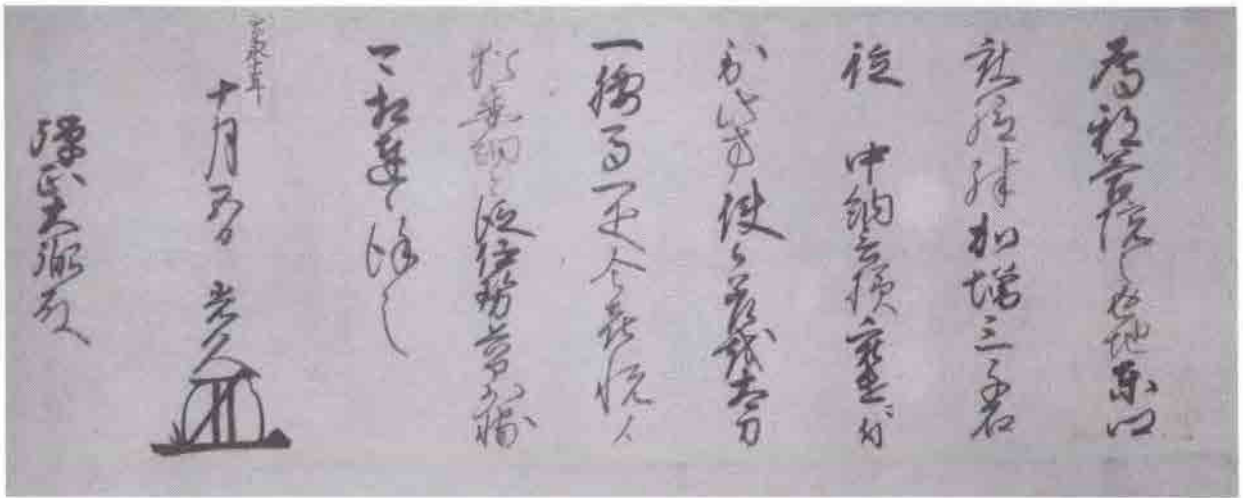
到遠路被差越使者、殊太刀一腰・馬代銀子拾枚、慇懃之至令祝着候、仍去月中旬俄ニ相煩瘡病ニ成候而、及難儀候、雖然五日以前振氣落候故、逐日可致本復候、多日之草臥候間、于今平臥之躰、可有推量候、將又公方様去十五日江御不例之由候条、心遣ニ存候処、早速被成 御平復

頃表へ 御成候而、各御目見得故、目出度儀共候、我等^茂氣力付候者、可致登 城候間、其節者御暇^茂出可申候ハん哉与存候、長々之留守之儀候条、其元之様子諸事被入御念肝要候、猶期後音入候、恐々謹言、

〔寛永十年〕

十月五日 家久^印

彈正大弼殿

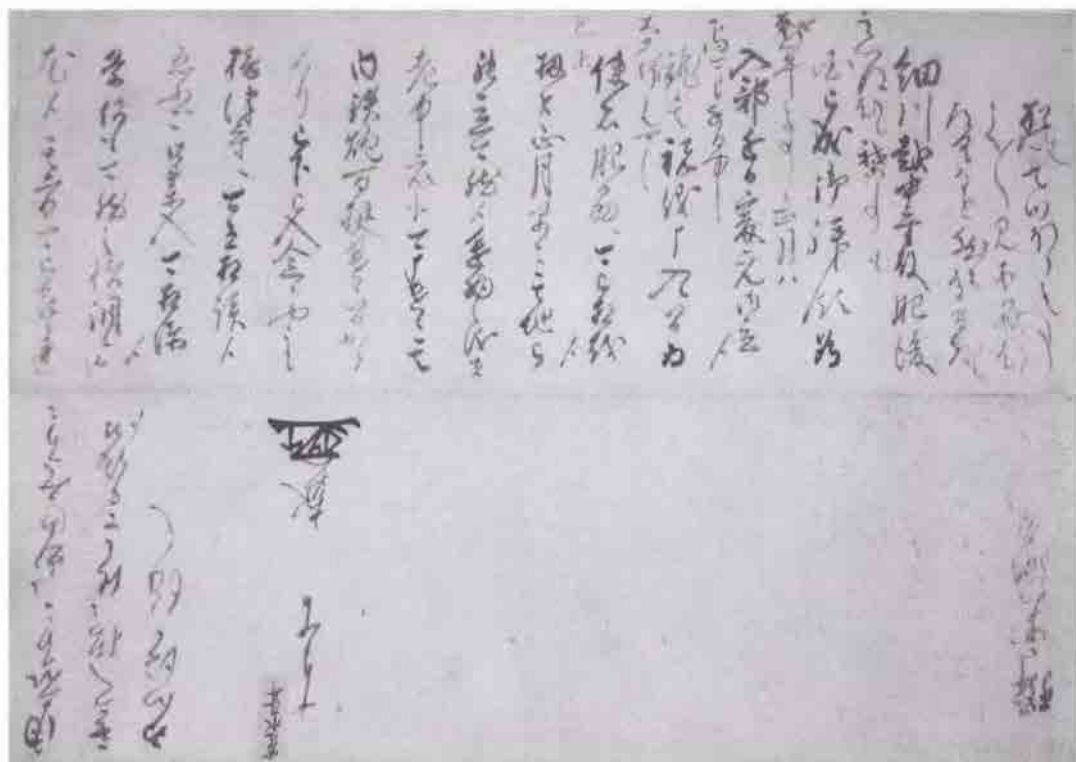


(34.9×52.6)

七 島津光久書状（日置島津家文書⑦）

爲祁答院之返地東郷
 被給、殊加増三千石、
 從 中納言様被遣二付、
 到此方使被差越、太刀
 一腰・馬一疋令喜悅候、
 猶委細者從伊勢兵部少輔
 可相達候、謹言、
 「寛永十年」
 十月五日 光久（花押）

彈正大弼殿



(39.9×56.7)

八 島津家久書状 (日置島津家文書⑧)

猶以、てつほう之事
 よくく見あはせ尤候、
 道具など然々有間敷候、
 其心得尤候、我等事も
 越年之事情、正月ハ
 下向可申候、近日中
 大久坊にて可申候、
 已上、
 細川越中守殿肥後
 国被成御拝領、為
 入部近日爰元御立候、
 就其祝儀申入候間、為
 使者肥州へ可被相越候、
 扱者正月早々其地被
 罷立可然候、進物之儀者
 老中衆江可申遣候、其
 内鉄炮百挺進候間、から
 くり已下被入念候やうに、
 摂津守へ可有相談候、
 亦ふご口葉入可相添候
 条、何も可然之様調候而
 尤候、其方可被召連

内衆下々至迄みたりに
 無之様ニ能々可被仰付候、
 為心得候、謹言、

〔寛永九年〕
 十月十日 家久(花押)

彈正大弼殿



(34.7×48.5)

九 島津家久書状（日置島津家文書⑨）

返く春ハ
 やかてまいり
 此たひは
 候へく候、
 こ、ろの外
 久くの
 事にて
 又々、かしく、
 心を
 つくし申候、
 其元
 そくさいの
 よし
 まんそく
 申事候、
 春ハ
 さうく
 御いとま出候する
 よし
 候ま、
 ほと
 有ましく候、
 やかては
 くたり

申へく候、
 たんもしも
 ひこへ
 使と
 して
 こしにて候、
 正月ハ
 さうく
 いそき候て
 こそ
 可然候、
 こ、元
 一しほ
 しつかなる
 事にて候、
 又々、かしく、

「寛永九年」
 霜月廿日 より
 おふくろ いゑ久
 まいる



(35.7×52.3)

一〇 島津家久書状（日置島津家文書⑩）

已上

一書令啓候、然者其

許家老役之衆無

人候之間、其方之義

下野守同前ニ諸式沙

汰尤候、委曲此兩

使可相達口上候、恐々

謹言、

極月六日 家久（花押）

彈正大弼殿



(35.5×53.0)

一一 島津家久書状 (日置島津家文書①)

返く、役の事

御ゆたん

有ましく候、

一筆申候、

く、かしく、

たん正とのへ

かはん役の

事

たのミ申候、

御いゑの

御ため

すこしも

忘候ハぬ

やうに

尤候、

よりと

よりの

御いゑ、

廿代に

あまり候事候ま、

まことにく

かろからさる

事にて候、

ゆく末

ちやうきふに

御入候やうに

めて度候、

此よし

いもしへも

申候、

春ハやかて

くたり候て、

よろこひ

申候へく候、

めて度候、

又々、かしく、

「寛永十年」

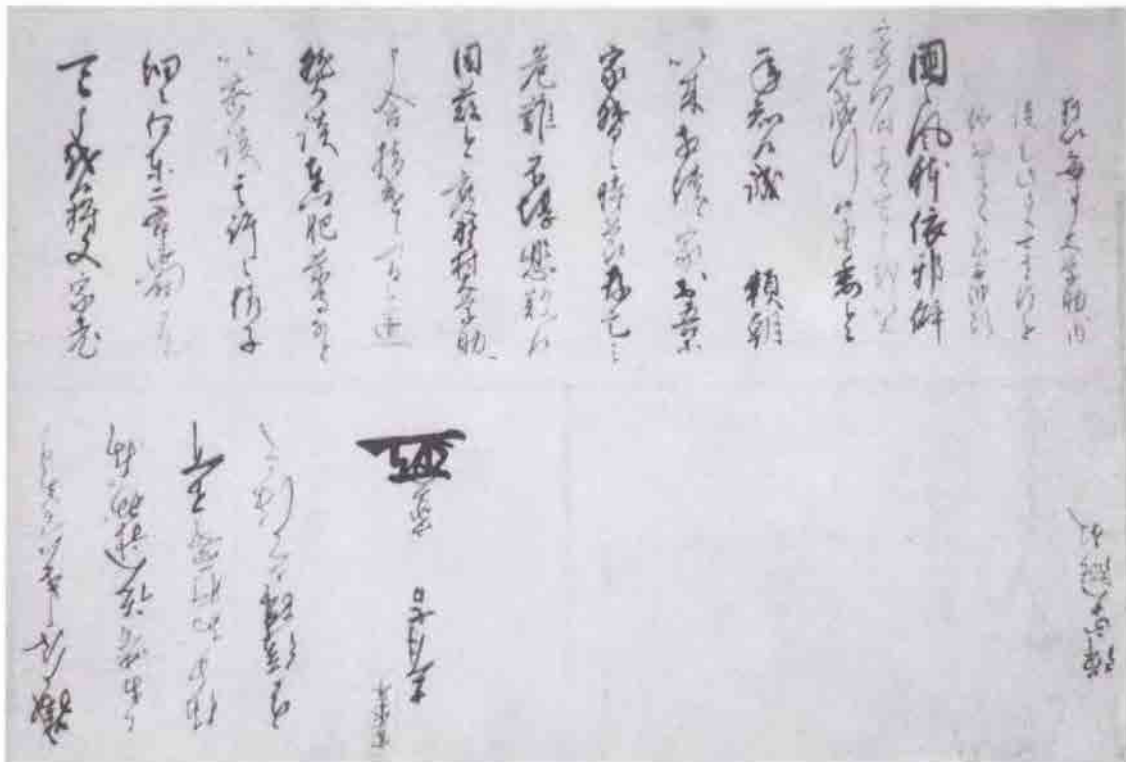
十二月七日

より

おふくろ

まいる

いゑ久



(35.7×52.5)

一一 島津家久書状（日置島津家文書⑫）

猶以、毎事大學助へ内

談候て、此方へ可有注進

儀於有之者、無油断

不寄何時早、可被申越候、以上、

国之風躰依邪僻

危成行候由、委令

承知候、誠 頼朝

以来相続候家、於吾等

家督之時節、存亡之

危難不堪悲歎候、

因茲今度野村大學助へ

申合、指遣候間、被遂

熟談、東郷肥前守など

以密談、其許之様子

細々伊東二右衛門尉まで

可被申越候、將又家老

職之儀申遣候間、萬事

被相嗜、諸人神妙ニ存候

様、分別肝要候、不可

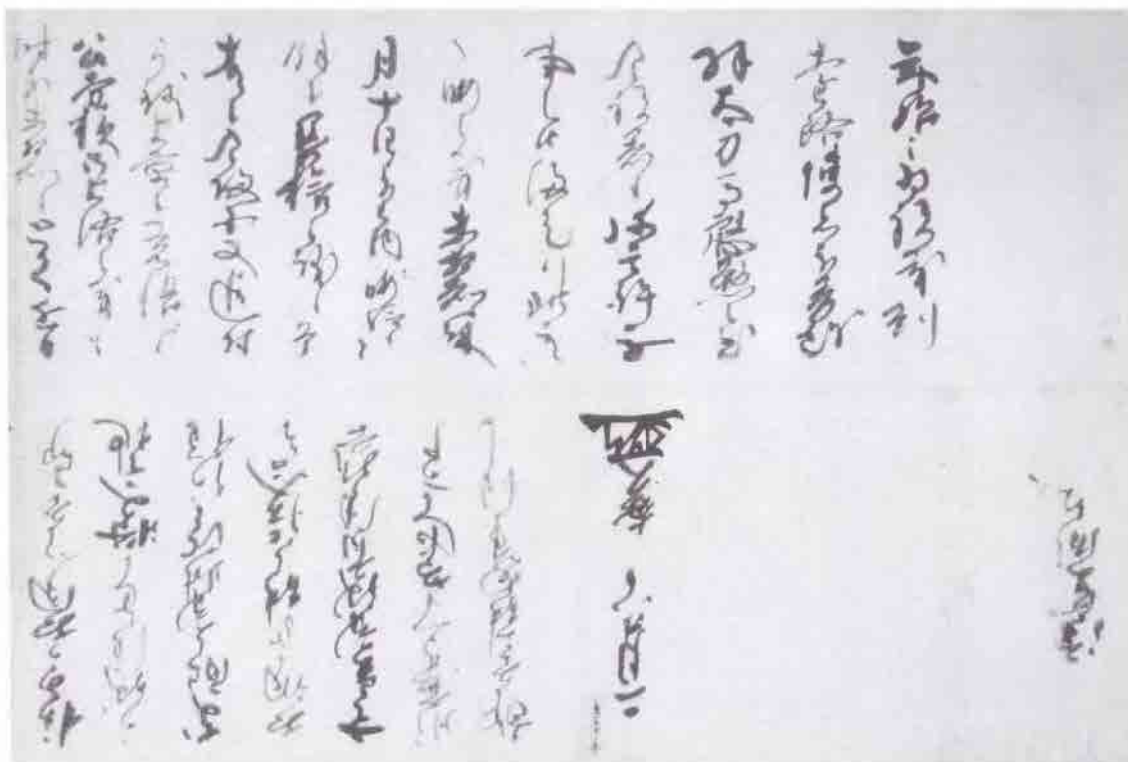
有緩疎候、恐々謹言、

〔寛永十年〕

十二月七日

家久（花押）

彈正大弼殿



(35.4×53.0)

一三 島津家久書状（日置島津家文書⑬）

年始之爲祝儀、到
 遠路使者被差越、
 殊太刀・馬慇懃之至、
 令祝着候、弥其許無
 事之由満足候、此度之
 御暇之義未相知候、来
 月十日より内ニ暇給候者、
 餘々長旅之儀候条、
 先者令帰国、又追付
 可致上京候覚悟ニ候、
 公方様御上洛之義も
 時分未相知候、とかく近日

様子可相聞候之条、即
 可致注進候、將又其地
 支配之義、此比者何程
 相調候哉、能々談合候て、
 無異儀致首尾候様、各
 肝煎專一候、尚追々可申
 越候条、不能細筆候、謹言、

「寛永十一年」
 二月廿八日 家久（花押）

彈正大弼殿



(35.7×52.6)

一四 島津家久書狀（日置島津家文書⑭）

家老役之義申越候
 処、爲其祝儀使者
 被指越、欣然之至候、
 弥諸式念を入、以
 談合被申付簡要候、
 此表無相替義候、
 御暇之儀未相知候、乍
 去近日中様子可相
 聞候、於其義者追付
 可致上洛候間、万々從
 京都可申下候、將又此中

内義少々煩之由相聞、連日
 無心許候処、早々快然之由、
 大慶不過之候、猶追々可
 申越候、謹言、

〔寛永十一年〕

卯月三日

家久（花押）

彈正大弼殿



(35.1×53.0)

一五 島津家久書状（日置島津家文書⑮）

くれく残多
 事のミ
 あたし世の
 申候、
 く、うらミ
 かしく、
 申ても申
 つくし
 かたく候、
 さそく
 めいわく
 たるへく候、
 我ら其元
 うつたち
 申候おりふしハ
 一しほ
 つ、かなく
 御入候て、
 いとまこひ
 申候つる
 むかしに
 なりハて候事

うつ、共
 夢ならぬ
 あハレ
 たん正との
 さそく
 袖の涙
 はかり
 たるへく候、
 ととも帰らぬ
 事
 にて候間、
 心を
 はれ候やうにと
 おもひ
 候へく候、
 まづ
 とりあへす申候、
 く、
 かしく、

「寛永十二年」
 五月十四日 中納言
 おふくろ いゑ久
 まいる



(35.8×55.0)

一六 島津家久書状（日置島津家文書⑬）

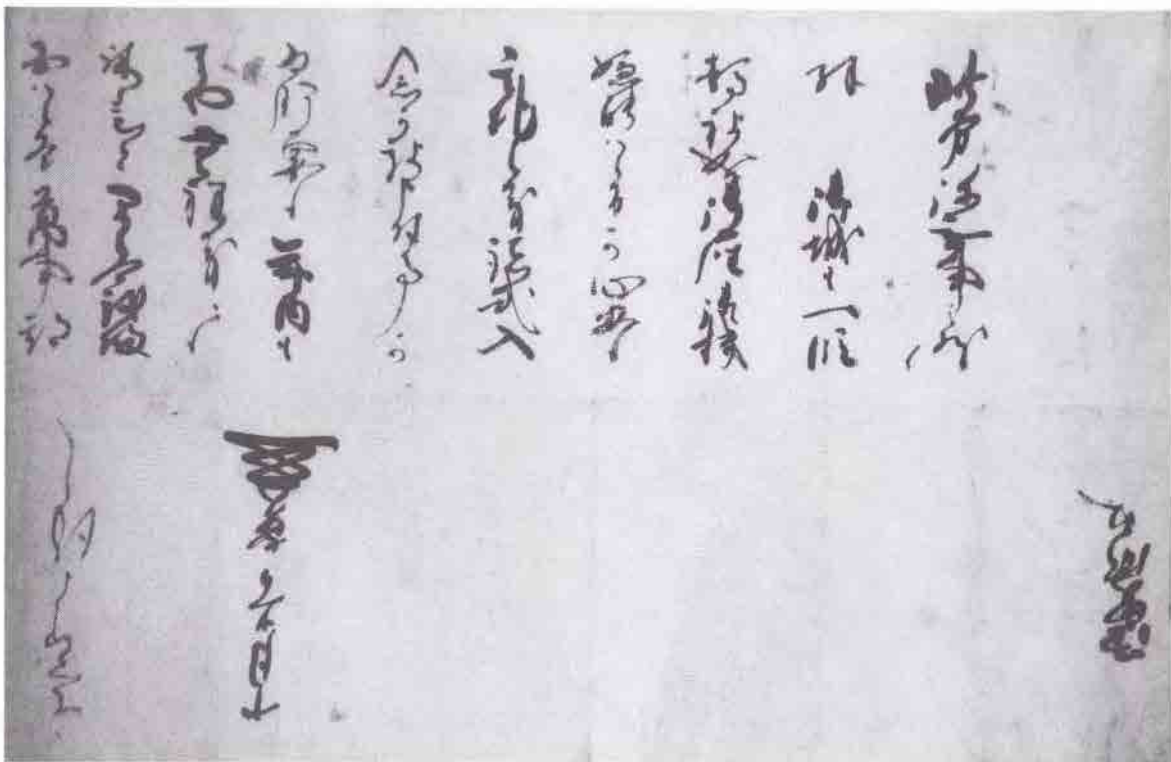
猶以南蛮宗之義、弥以御
 法度之旨稠被 仰出ニ付、
 来ル十一月朔日より諸国一時ニ
 可被相改之由、各談合を以
 旨ニ相究候、委者 下野守
 兵部少より可申越候条、可被得
 其心候、我等留守之義候之条、
 其方諸事念を入可被申
 付候、聊以不可有油断候、
 已上、

其後其許之到来如何と
 無心元候処、弥以無事之
 由、今度相聞、欣悦之至候、
 此方之義も皆々無為之
 鉢候条、可心安候、将又來
 春者早々可致帰国候条、
 追付犬追物可相企と
 存候、久々中絶之義共ニ候、
 其上川上十郎左衛門尉事も
 年之儀候条、彼らを以為稽
 古必々可相催候、其方事
 も兼日馬之用意可為
 肝要候、其外射手ニ可

罷出衆、其心得候様、内々
 可被申渡候、俄ニ者可
 難成義候之条、連々其
 覚悟不可有油断候、
 尚追而可申候、謹言、

九月廿七日 家久（花押）

彈正大弼殿



(36.3×56.5)

一七 島津家久書状（日置島津家文書⑫）

此方弥無事之躰候、殊御城も一段静被成御座、御機嫌能候之間、可心安候、其地之義、諸式入念可被申付事可為肝要候、年内もはや無程義ニ候、來春者、早々可致帰国候之条、萬事期

其節候、謹言、

十月十一日

家久（花押）

彈正大弼殿



(35.6×52.5)

一八 島津家久書状（日置島津家文書⑱）

猶以伊勢籠へも下緒二具、
銘々被入念、芳志之至候、
已上、

為当年之祝義、到
遠路使者、殊太刀、
馬代慇懃之至候、
從内義も樽肴重疊
懇意之段、爲悦此事候、
其方無事之由令滿
足候、此方も無相替
義候、定而其地へ相
聞候はん、此許者諸大
名衆石墻普請にて、
殊之外取籠之為躰、可有

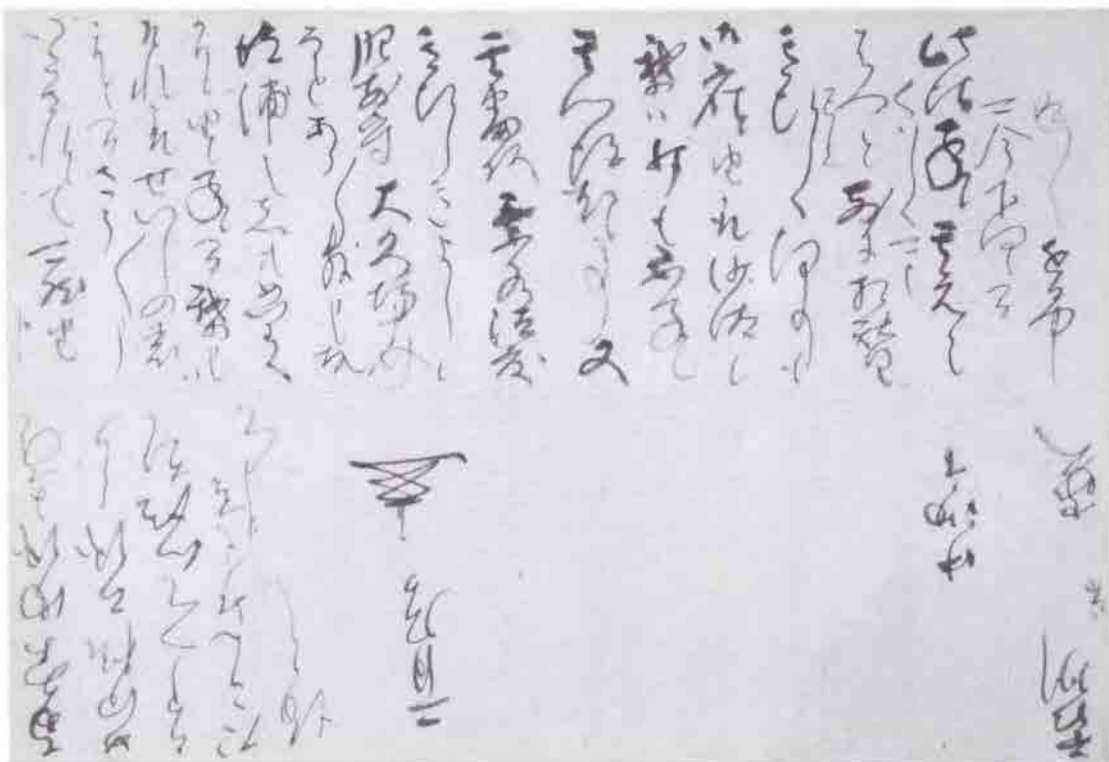
推量候、來ル四月者兼
日如被 仰出候、いづれも
御暇可出候之条、其節者
早々令帰国、万端期面
会之時候、謹言、

〔寛永十三年〕

二月八日

家久（花押）

彈正大弼殿



(31.7×46.5)

一九 島津家久書状（日置島津家文書⑱）

返く、近日中

可令下向候間、

くハしく可申候、

已上、

此比承候、其元之

はつと前に相替、

きひしく何事も

御座候由取沙汰候、

我等ハ少も不承候、

其心得尤候事、又

玄番頭乗水法度

きひしきよし候、

肥前守・大久坊・十介

などあらく敷申候故、

彼浦之者共めいわく

かり候由候、承候間、我等申候ハ

それこそせいしの表

にて候間、さうく申

いたされ候て可然由申候、

両条内儀に承候、

如何様公儀より

被申へく候、心得尤候、

たこん少も有ましく候、

謹言、

二月九日

（花押）

中納言

家久

霜州

まいる



(35.8×53.7)

二〇 島津家久書状（日置島津家文書②）

薩摩守殿御暇出、直ニ
 如有馬下向之由、珍重
 存候、從此方鳴原へ
 加勢之人数可申付之
 由、松平伊豆守殿へ度々
 申越候へ共、加勢入間鋪之
 由、下野守へ兩度為被
 仰之由候、然時者薩摩守殿も
 上使へ被爲見廻、如此
 方可有下着欵と相
 待居にて候、將又其方
 煩無然々由咲止候、

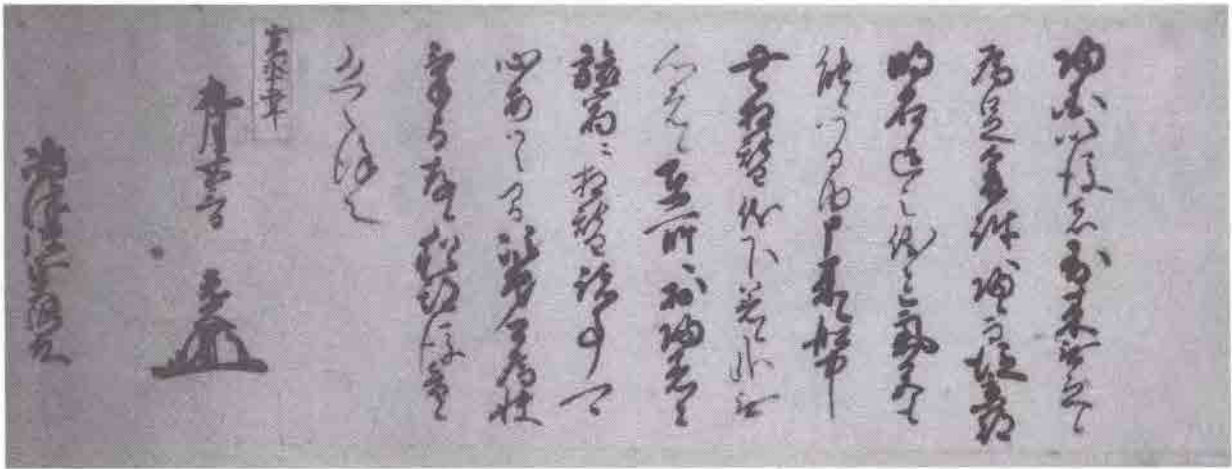
所用被為聞義迎成
 間鋪候之条、早々帰国尤候、
 其由鎌田出雲守へも申越候、
 可有其心得候、謹言、

〔寛永十五年〕

二月十二日

家久印

彈正大弼殿



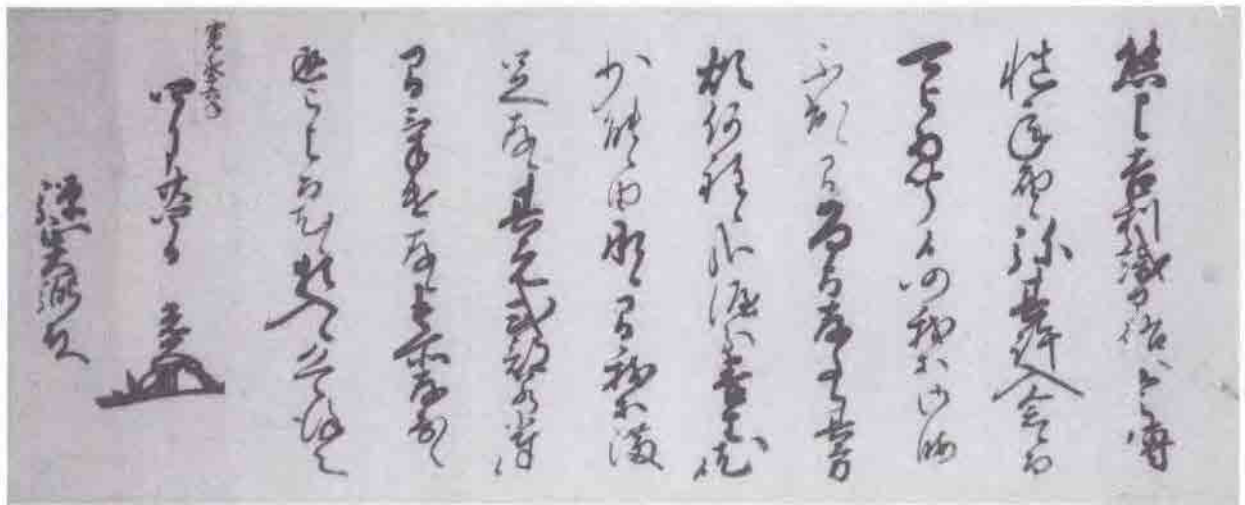
(35.1×52.5)

二一 島津光久書状（日置島津家文書②）

歸國以後者到來無之候、
 為足爰許へ歸候而、從京都
 明石迄之儀者氣色も
 能候つる由申來候、船中
 無相替儀下着候哉、無
 心元候、在所へ於歸着者
 旅宿ニ相替、諸事可
 心安候之間、次第可為快
 氣与存候、猶期後音候、
 恐々謹言、

「寛永十五年」
 九月廿三日 光久（花押）

鳴津彈正大弼殿



(35.3×47.5)

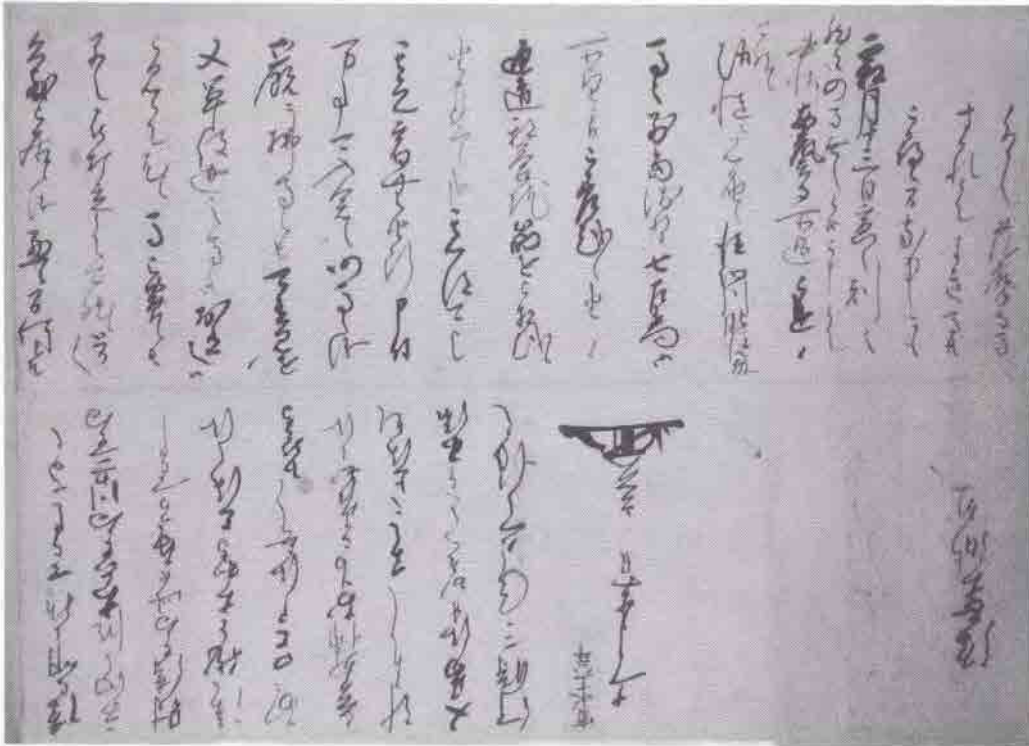
二二 島津光久書状（日置島津家文書②）

態申候、吉利織部佑へ令傳
 髓承届候、弥其許入念候而、
 可被為聞候、仍我等御暇
 不出候間、如何与存事候、其方
 煩何程候哉、涯分養生尤候、
 少能候由承候間、我等満
 足存候、其元式部若輩候
 間、氣遣存候、貴所存寄之
 通被申候而尤候、頼入候、恐々謹言、

〔寛永十六年〕

四月廿四日 光久（花押）

彈正大弼殿



(31.1×54.5)

二三 島津光久書状（日置島津家文書②）

猶、薩摩守馬ニ

すかれ候て、よき馬共

被尋候間、家中ニも

然々の馬無之候由被申候て

可然候、

霜月十三日寅之刻之

書状、安藝守所迄被遣候

趣、慥ニ見届候、從細川肥後守殿

馬之別当淺野七左衛門尉御

所望ニ付、被差越候由候、

通道祁答院筋を被相越候

由申来候哉、其心得可申候、

其元宿無由断申付、

万事可入念候、仍馬之儀

御厩ニ拂馬之由可有見せ候、

又軍役迦之馬共於有之ハ、

被見候て尤候、馬被買候者

早々被打立候て可然候、とかく

久敷被居候儀悪候間、何とそ

隙之明候様ニ可被申候、馬之

巨細之段大六右衛門尉・川五二右衛門尉

財傳右衛門尉此由存候間、可被申

談候、然者大和守上洛之儀、

別ニ口上申儀無之候、下野守・

兵部少輔前占被差出候儀

計ニて候、早々之上洛尤候、

又易儀共於有之者、不依

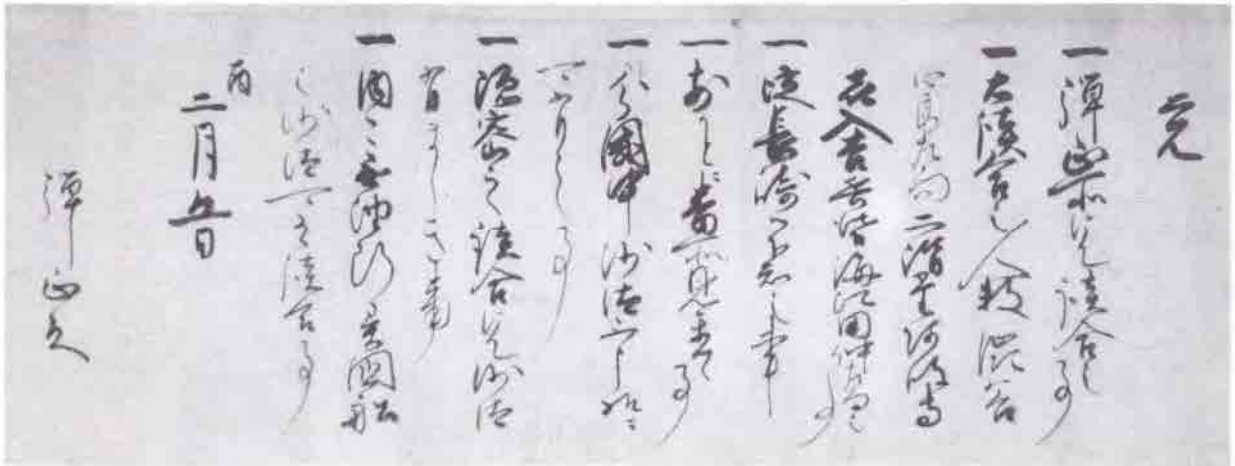
何時可承候、恐々謹言、

〔寛永十六年〕

十一月十五日

光久（花押）

彈正大弼殿



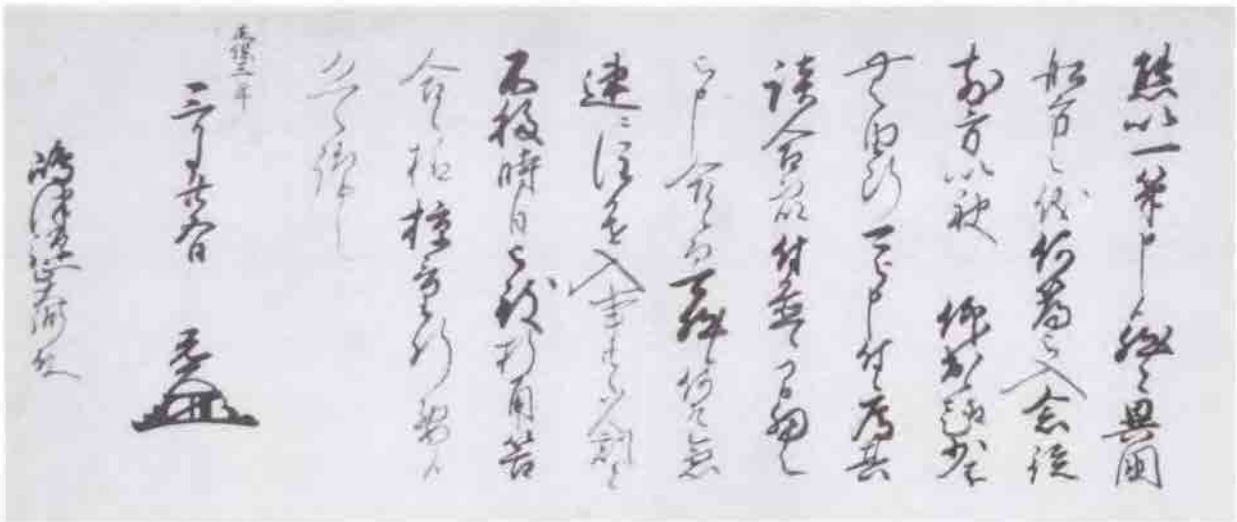
(39.6×55.0)

二四 島津光久覚書（日置島津家文書②④）

覚

- 一 彈正所にて談合之事、
- 一 右談合之人数、渋谷
- 四郎左衛門尉・二階堂阿波守・
- 喜入吉兵衛尉・海江田仲左衛門尉之事、
- 一 從長崎御下知之事、
- 一 前かと二番所見置候事、
- 一 分國中沙汰不申様ニ
- 可有之事、
- 一 隱密之談合にて沙汰
- 有ましき事、
- 一 内々無油断異国船
- 之沙汰可有談合事、
- 酉二月五日

彈正殿



(36.4×54.0)

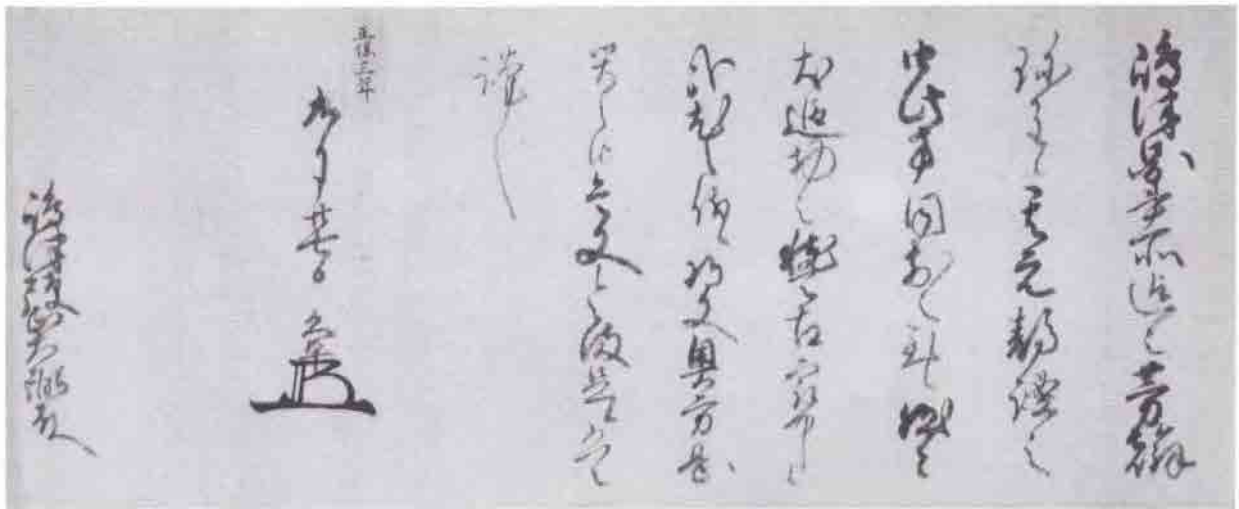
二五 島津光久書状（日置島津家文書②⑤）

態以一筆申候、然者異国
 船方之儀何篇被入念、從
 前方以 被仰出候趣、少茂
 無由断可被申付候、為其
 談合衆付置候間、細々
 被申合候 而可然候、何そ急
 速ニ注進入事共候ハん刻者、
 不移時日被致折角筈
 合候様、校量肝要候、
 恐々謹言、

〔正保三年〕

三月廿五日 光久（花押）

嶋津彈正大弼殿



(36.3×60.5)

二六 島津久平書状（日置島津家文書②⑥）

嶋津図書所迄之芳翰

弥重候、其元静謐之

由、此方同前之至候、然者

犬追物之稽古最中候

哉、尤之儀候、将又奥方息

災之由、是又令満足候、恐々

謹言、

〔正保三年〕

九月廿七日 久平（花押）

嶋津彈正大弼殿



被 仰出條

一 異国船之儀、弥御分國中無緩様可被申
 付候、勿論江戸へ可被 聞召上儀者 即刻
 可被申上候、但依様子鹿兒嶋へ申来候よりは
 延引に可罷成儀者、從其所直飛脚可差
 上候旨、連々可被申付置候、就其外城より江戸江
 可差上人は、物なとよく申分、合點能候する人へ
 兼日申付置候やうに可被申渡事、

一 南蛮船見得候者、大坂町奉行衆、長崎并 此宗旨
 御下知之衆、豊後横目衆へ早速注進可被申候、
 勿論江戸へも可被申上事、

一 琉球其外諸嶋之異国船番之替可被申付
 事、付きりしたん宗旨之改、油断あるましき事、

右之條々かたく被相守可被申付、若行
 迫儀共於有之者、家老衆与致相談可被
 申付者也、

正保四年正月廿八日

(35.5×82.2)

二七 島津光久袖判条書 (日置島津家文書②)

(花押)

被 仰出條

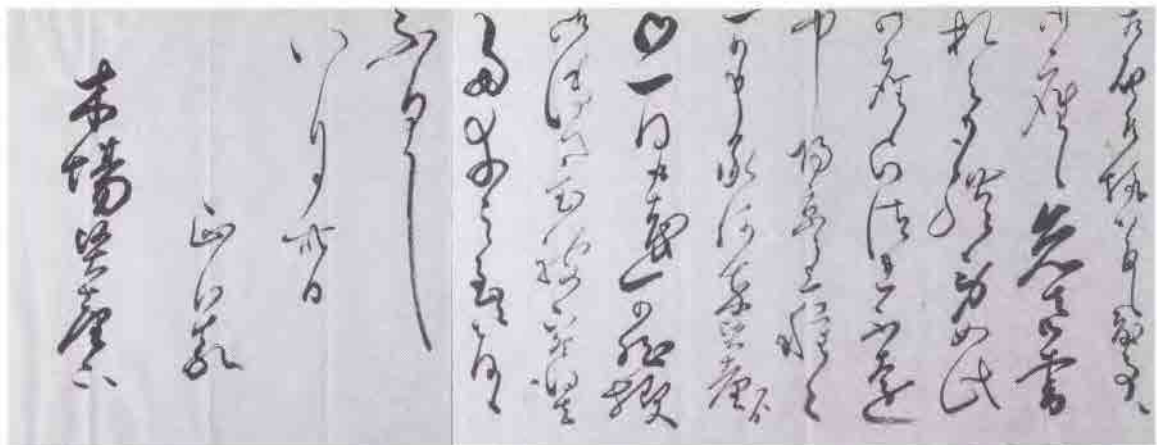
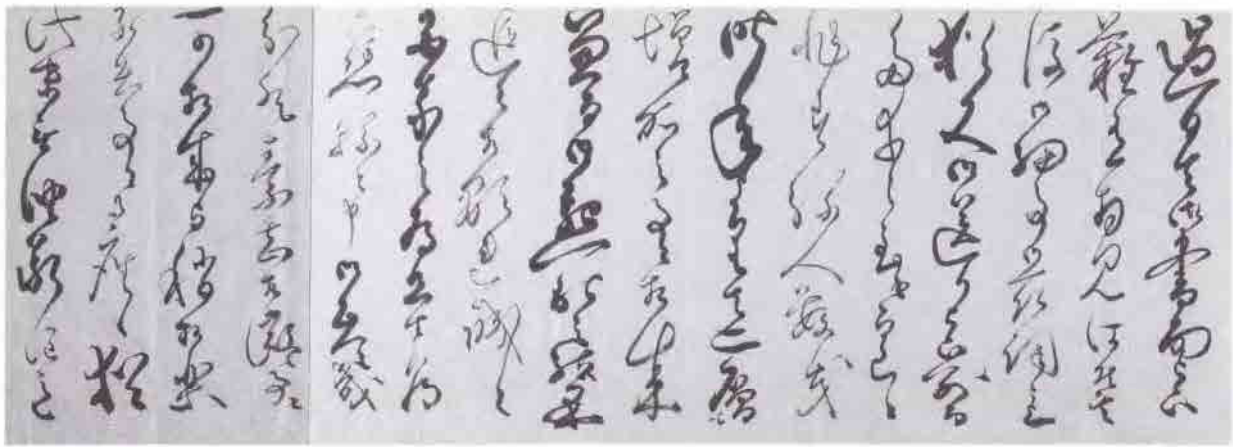
一 異国船之儀、弥御分國中無緩様可被申
 付候、勿論江戸へ可被 聞召上儀者 即刻
 可被申上候、但依様子鹿兒嶋へ申来候よりは
 延引に可罷成儀者、從其所直飛脚可差
 上候旨、連々可被申付置候、就其外城より江戸江
 可差上人は、物なとよく申分、合點能候する人へ
 兼日申付置候やうに可被申渡事、

一 南蛮船見得候者、大坂町奉行衆、長崎并 此宗旨
 御下知之衆、豊後横目衆へ早速注進可被申候、
 勿論江戸へも可被申上事、

一 琉球其外諸嶋之異国船番之替可被申付
 事、付きりしたん宗旨之改、油断あるましき事、

右之條々かたく被相守可被申付、若行
 迫儀共於有之者、家老衆与致相談可被
 申付者也、

正保四年正月廿八日



(19.5×114.5)

二八 松方正義書簡（木場貞長関係文書②）

過日者御書面被下、
 難有拝見仕候、其
 後御細事御取調之上、
 猶又御送り被下、別而
 多幸之至而已ニ
 非ず、縣人数茂
 昨年よりは二層も
 増加之事ニ相成
 兼而御懇配之結果
 追々相頭れ、誠々
 國家之為、且者為
 舊縣と申、御互ニ幾
 分欽素志相徹候事ニ
 可相成与稍相楽
 罷在事ニ御座候、猶
 此末無油断注意

相届候様いたし度事ニ
 御座候、先者御書
 札之御禮旁如此
 御座候、いつれ不遠
 中帰京之上種々
 可申承、何卒賢臺と
 御一同江茂可然様
 御傳へ置被下候得者
 多幸之至ニ奉存候、
 不具、

八月卅日
 正義
 木場賢臺下



(19.5×61.5)

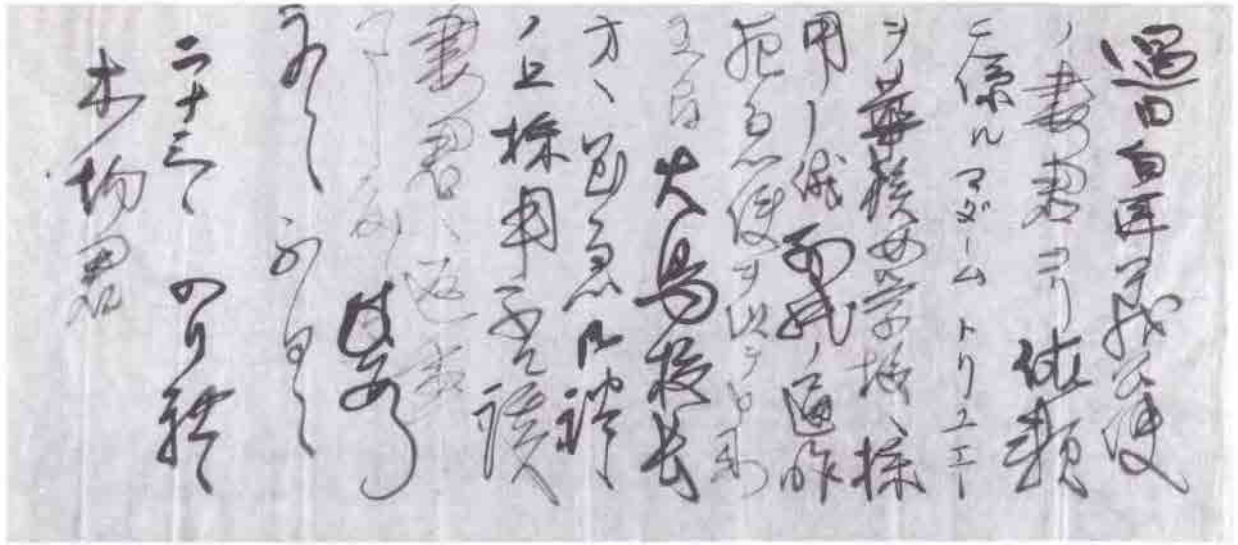
二九 樺山資紀書簡（木場貞長関係文書⑨）

拜啓、過日ハ遠方迄御
 光来被下、難有奉謝候、
 儲其節御持参り被下候写
 見る際懇親會ニ而談話
 仕候筆記、重複又脱漏
 等有之、修正増補仕、別冊
 御返却仕候間、御覧之上
 宜敷御訂正等被下度奉
 希候、将夕岩崎氏江来ル
 十六日精養軒ニ於テ慰勞
 會開催ニ付而ハ出席之積
 御座候処、京都御獵江明後
 十四日より出發陪獵之筈ニ而
 甚夕遺憾之至、出席難仕、
 何卒貴臺より宜敷御
 取成被下度、是又奉伏翼候、
 右要事且ツ御断迄、匆々

敬具

一月十二日 資紀

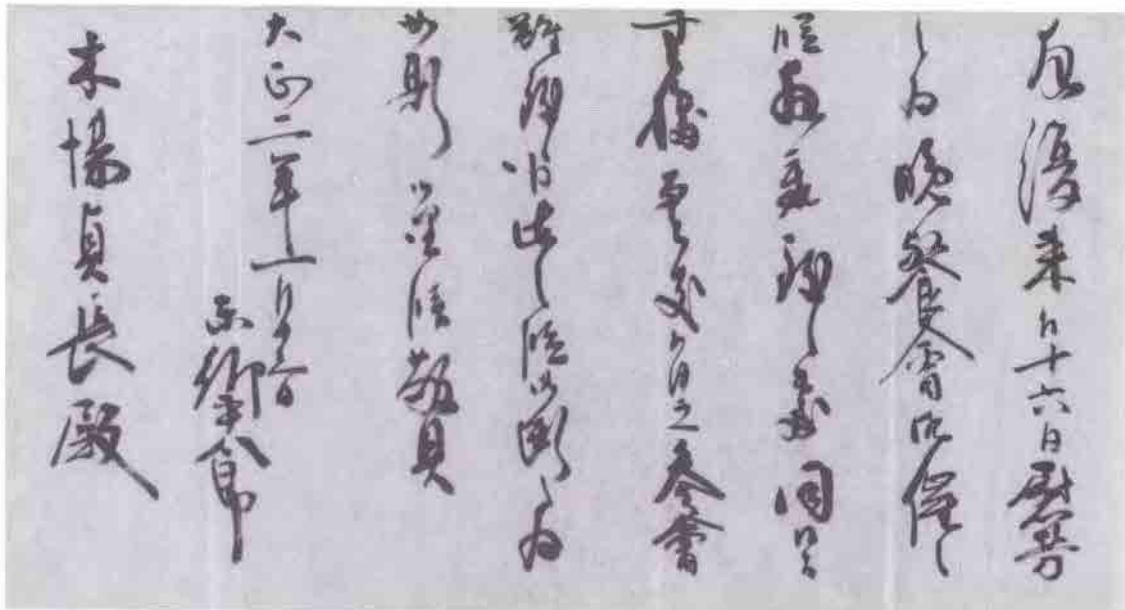
木場賢臺
 膝下



(18.0×53.5)

三〇 森有礼書簡（木場貞長関係文書①）

過日白耳義公使
 ノ妻君ヨリ依頼
 ニ係ルマダム トリエエー
 ヲ華族女学校へ採
 用ノ儀、別紙ノ通昨
 夜急使ヲ以テ申来
 候間、大島校長
 方へ至急御禮
 ノ上、採用否該
 妻君へ返事
 いたし度候、此段
 早々、不具、
 二十三日 有禮
 木場君



(18.0×47.0)

三一 東郷平八郎書簡（木場貞長関係文書⑬）

拜復、来る十六日慰勞
之為、晚餐会御催之

段拜承致候處、同日者

無據差支有之、参会

難致候間、此之段御断之為

如斯御座候、敬具、

大正二年一月十三日

東郷平八郎

木場貞長殿

拝読仕候、廿二日は
 他ニ午餐会之約
 有之、一時迄ニハ出
 席仕兼候半、若シ午
 餐会早ク相仕舞
 たる時ハ參上スベシ、
 卅日ハ可成繰合出
 席仕度所存ニ御座候、
 先ツ小生ハ申述候通、大
 体ニ於テ賛成ニ御座候間、
 細目ハ萬よろ敷
 御吟味御決定奉願候、
 匆々拝復、
 一月廿日
 木場老臺
 梧右
 純孝

(19.0×64.0)

三二 長谷場純孝書簡（木場貞長関係文書⑭）

拝読仕候、廿二日は
 他ニ午餐会之約
 有之、一時迄ニハ出
 席仕兼候半、若シ午
 餐会早ク相仕舞
 たる時ハ參上スベシ、
 卅日ハ可成繰合出
 席仕度所存ニ御座候、
 先ツ小生ハ申述候通、大
 体ニ於テ賛成ニ御座候間、
 細目ハ萬よろ敷
 御吟味御決定奉願候、
 匆々拝復、
 一月廿日
 木場老臺
 梧右
 純孝

松方侯へ御内話致、御手紙申上候
 要點丈ケを拔萃致、内覽
 二入置申候、主意書之點ニ付テハ
 未タ御話不致候、発程迄ニハ
 御内談可致存居候、役割其他
 配当ニ付テハ、即座ニ別ニ御意
 見無之、募集之ことハ大體
 成功すべしとの御意向ニ御座候、
 役割ニ付テハ、委員長ニ大山・東郷
 兩大将之内可然との御氣附
 有之候得共、募集事業ニハ御迷惑
 なるべし、何トカ外ニ名義を
 特ニ附ケ候方法も有之べしと申述

松方侯へ御内話致、御手紙申上候
 要點丈ケを拔萃致、内覽
 二入置申候、主意書之點ニ付テハ
 未タ御話不致候、発程迄ニハ
 御内談可致存居候、役割其他
 配当ニ付テハ、即座ニ別ニ御意
 見無之、募集之ことハ大體
 成功すべしとの御意向ニ御座候、
 役割ニ付テハ、委員長ニ大山・東郷
 兩大将之内可然との御氣附
 有之候得共、募集事業ニハ御迷惑
 なるべし、何トカ外ニ名義を
 特ニ附ケ候方法も有之べしと申述

(18.5×99.5)

三三 牧野伸顯書簡（木場貞長関係文書②）

拝墨仕候、過日得御意置候通、
 松方侯へ御内話致、御手紙申上候
 要點丈ケを拔萃致、内覽
 二入置申候、主意書之點ニ付テハ
 未タ御話不致候、発程迄ニハ
 御内談可致存居候、役割其他
 配当ニ付テハ、即座ニ別ニ御意
 見無之、募集之ことハ大體
 成功すべしとの御意向ニ御座候、
 役割ニ付テハ、委員長ニ大山・東郷
 兩大将之内可然との御氣附
 有之候得共、募集事業ニハ御迷惑
 なるべし、何トカ外ニ名義を
 特ニ附ケ候方法も有之べしと申述

木場老臺

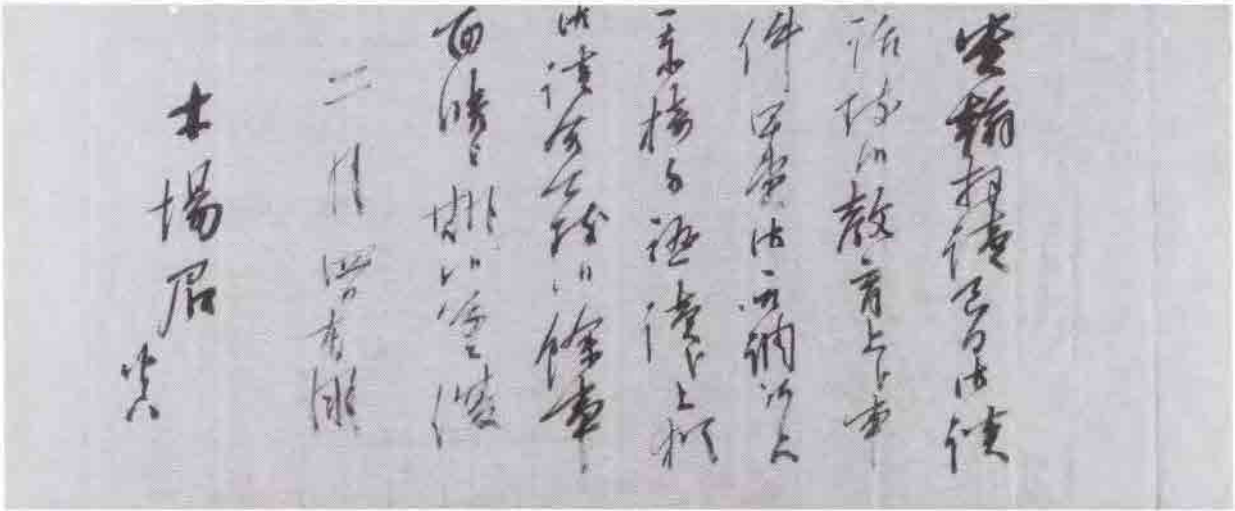
牧野伸顯

貴書落手、不相變御清榮
 御奉職、敬賀之至ニ候、御書中
 縷々之事情、細々承知、松
 方大臣其外申合、何とか工夫
 可致候、乍去洋行之事ハ目下
 御望之通り相運ひ候事ハ難
 請合、将来何等之緊要
 有之候時節迄御待合之外
 有之間布ト存候、東京へ御轉
 任之事丈ケハ、随分可被行事
 欵ト存候故、精々可致心配候、貴
 書ハ松方大臣へも入一覽置候
 間、御含有之度候、小生も今日
 占金澤辺へ海水浴之為
 出懸可申、尤暫時之事ニ
 而可致帰京候、不取敢一応之
 御答迄寸書早々頓首、
 五月九日
 博文
 木場貞長殿

(18.0×65.0)

三四 伊藤博文書簡（木場貞長関係文書③）

貴書落手、不相變御清榮
 御奉職、敬賀之至ニ候、御書中
 縷々之事情、細々承知、松
 方大臣其外申合、何とか工夫
 可致候、乍去洋行之事ハ目下
 御望之通り相運ひ候事ハ難
 請合、将来何等之緊要
 有之候時節迄御待合之外
 有之間布ト存候、東京へ御轉
 任之事丈ケハ、随分可被行事
 欵ト存候故、精々可致心配候、貴
 書ハ松方大臣へも入一覽置候
 間、御含有之度候、小生も今日
 占金澤辺へ海水浴之為
 出懸可申、尤暫時之事ニ
 而可致帰京候、不取敢一応之
 御答迄寸書早々頓首、
 五月九日
 博文
 木場貞長殿



(18.5×47.0)

三五 山県有朋書簡（木場貞長関係文書③③）

貴翰拜読、過日御談話致候教育上之事、早速御取調被下。忝椅子熟読之上、猶御談合可致候、餘事面晤を期候、匆々復、二月四日、有朋、木場君、座下。

拜啓行政各般ノ整理ハ固ヨリ緊
急ノ要務ニ付、當省直轄學校事業
ニ関シテモ其整理ノ要スルハ勿論ニ有之、
目下夫々、經畫中ノ事、右諸學校ニ要スル
經費ハ從來其不足ヲ感スルニも拘ラス、
種々ノ事情ニ依リ別表ノ通連年減
額シ、特ニ初期議會已來ハ益々削
減ヲ試ミラレ、今ハ非常ノ改革ヲ為スニアラス
ハ殆ト之ヲ維持スル能ハサルニ至レリ、是レ畢
竟政費ノ節減ニ伴隨シタル結果ナリト雖、
議會ニ於テ諸學校ニ對シ痛ク削減セシハ
別ニ文部行政ノ信用ヲ薄クセシト、私立
學校競争ノ結果ハ、官立學校ヲ必要
ナラストノ妄念ヲ惹キ起サシメタルモノ、一大
原因トナリテ遂ニ立至リ候儀ト思量
致候、抑諸學校ノ儀ハ之ヲ設立シテ、其設
備ヲ充分ナラシメサルトキハ、學校設立ノ
目的ヲ達スル能ハス、實ニ功ヲ一實ニ欠ク
ノ止ヲ得サル次第ニ有之、然ルニ實際上經
費ノ削減セラレタリシコト前陳ノ始末ニ付、

教育上甚不充分ヲ免レサルハ明瞭
ナル事實ニ有之、去レハ迺今日ニ於テ増
費ヲ求ムルハ時勢ノ許サ、ル所ナルヘク、就
テハ現在ノ經費中ニ於テ其性質ヲ檢
別シ、努メテ冗費ヲ省キ、最欠乏ヲ告グル
教員俸給及教務ニ要スル費用ヲ
給足セシムルノ外他ニ良策無之、隨テ諸學
校經費總額ニ就テハ此際ト雖も、減額
致サ、ル事ニ方針相定度候間、從來ノ行掛
篤ト御領意充分御賛襄被成
下候様、豫メ得貴意候、敬具、
明治廿六年三月卅一日
文部大臣井上 毅
伯爵伊藤内閣總理大臣殿

(19.5X103.0)

三六 井上 毅書簡（木場貞長關係文書③）

拜啓、行政各般ノ整理ハ固ヨリ緊
急ノ要務ニ付、當省直轄學校事業
ニ関シテモ其整理ヲ要スルハ勿論ニ有之、
目下夫々、經畫中ノ處、右諸學校ニ要スル
經費ハ從來其不足ヲ感スルニも拘ラス、
種々ノ事情ニ依リ別表ノ通連年減
額シ、特ニ初期議會已來ハ益々削
減ヲ試ミラレ、今ハ非常ノ改革ヲ為スニアラス
ハ殆ト之ヲ維持スル能ハサルニ至レリ、是レ畢
竟政費ノ節減ニ伴隨シタル結果ナリト雖、
議會ニ於テ諸學校ニ對シ痛ク削減セシハ
別ニ文部行政ノ信用ヲ薄クセシト、私立
學校競争ノ結果ハ、官立學校ヲ必要
ナラストノ妄念ヲ惹キ起サシメタルモノ、一大
原因トナリテ遂ニ立至リ候儀ト思量
致候、抑諸學校ノ儀ハ之ヲ設立シテ、其設
備ヲ充分ナラシメサルトキハ、學校設立ノ
目的ヲ達スル能ハス、實ニ功ヲ一實ニ欠ク
ノ止ヲ得サル次第ニ有之、然ルニ實際上經
費ノ削減セラレタリシコト前陳ノ始末ニ付、

教育上甚不充分ヲ免レサルハ明瞭
ナル事實ニ有之、去レハ迺今日ニ於テ増
費ヲ求ムルハ時勢ノ許サ、ル所ナルヘク、就
テハ現在ノ經費中ニ於テ其性質ヲ檢
別シ、努メテ冗費ヲ省キ、最欠乏ヲ告グル
教員俸給及教務ニ要スル費用ヲ
給足セシムルノ外他ニ良策無之、隨テ諸學
校經費總額ニ就テハ此際ト雖も、減額
致サ、ル事ニ方針相定度候間、從來ノ行掛
篤ト御領意充分御賛襄被成
下候様、豫メ得貴意候、敬具、
明治廿六年三月卅一日
文部大臣井上 毅
伯爵伊藤内閣總理大臣殿

旨可申上候御意
 此度地方官御就任
 之義、懇ニ御申越候趣
 敬承、内々模様聞札
 申事ハ、唯今強テ
 申出シ候テハ成就セザルノ
 恐有之、可成指定地
 二相成候様致度トノ條
 件ヲ付シ、芳川内相
 松岡次官迄倚頼ニ及置候、
 高等官一等之事ハ
 御就職ノ後数月ヲ経候
 上ハ、猶又精々倚頼御陞
 叙相成候様、一骨折可致ト
 存候、尤即今随分候補
 者モ有之様子、成否之程ハ
 何共豫メ難申入候得共、
 懇ニ倚頼ニ及置候条、一週
 間或八十日間之内ニ者何トカ
 模様可相分ト存候、

指定地ト申事ハ、
 又ニ其家一其ノ事ハ
 亦述之妙ク、此度
 單純ニ言及家ニ事ト
 知事ト申事ハ、
 難計、右ニテハ寧口御請不
 被成トノ御意志ニ可有之
 哉、今一応承知致度、拙生
 之考ニテハ先ツ右ニテモ
 御請被成置、御就任後
 御陞叙之事ヲ骨折
 候方、寧口可然哉ト相考候
 得共、譬一ヶ条ニテモ御望之
 御名譽無之テハ御請不
 被成候哉否、何分之御速
 報奉待候、早々頓首、
 一月廿五日
 木場君
 座右

(18.5×118.5)

三七 蜂須賀茂韶書簡（木場貞長関係文書③）

過日者貴翰御惠投
 被下、辱拜読致候、陳者
 此際地方官ニ御就任
 之義、懇ニ御申越候趣
 敬承、内々模様聞札
 申事ハ、唯今強テ
 申出シ候テハ成就セザルノ
 恐有之、可成指定地
 二相成候様致度トノ條
 件ヲ付シ、芳川内相
 松岡次官迄倚頼ニ及置候、
 高等官一等之事ハ
 御就職ノ後数月ヲ経候
 上ハ、猶又精々倚頼御陞
 叙相成候様、一骨折可致ト
 存候、尤即今随分候補
 者モ有之様子、成否之程ハ
 何共豫メ難申入候得共、
 懇ニ倚頼ニ及置候条、一週
 間或八十日間之内ニ者何トカ
 模様可相分ト存候、

指定地ト申事モ随分
 容易ニ者難運哉ト推察、
 又高等官一等之事ハ
 前述之如ク候ニ付、此際
 單純ニ高等官二等之
 知事ト申事ニ相成哉モ
 難計、右ニテハ寧口御請不
 被成トノ御意志ニ可有之
 哉、今一応承知致度、拙生
 之考ニテハ先ツ右ニテモ
 御請被成置、御就任後
 御陞叙之事ヲ骨折
 候方、寧口可然哉ト相考候
 得共、譬一ヶ条ニテモ御望之
 御名譽無之テハ御請不
 被成候哉否、何分之御速
 報奉待候、早々頓首、
 一月廿五日
 木場君
 座右

所藏文書目錄

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
1	小池道子書簡	1	鎌田正夫宛	8月30日	18.5×55.5	7.購	7834-1
2	鎌田正夫書簡	1	小野田貢宛	明治3年 8月15日	18.5×38.5	7.購	7834-2
3	井上頼囀書簡	1	阪正臣宛	2月26日	16×28	7.購	7834-4
4	税所敦子書簡	1	鎌田正夫宛	9月26日	18×34	7.購	7834-5
5	本居豊穎書簡	1	御歌所宛	2月2日	18.5×43	7.購	7834-6
6	西村茂樹書簡	1	高崎顧問(正風)宛	11月28日	18.5×48	7.購	7834-7
7	千家尊福書簡	1	高崎正風宛	3月28日	18.5×48	7.購	7834-8
8	久我通久書簡	1	阪正臣宛	2月15日	18.5×44	7.購	7834-12
9	戊辰戦争戦没者墓地巡拝計画	1			25.8×18	7.贈	7838-37
10	物集高見書簡	1	鎌田正夫宛	明治26年 4月1日	18×48	7.購	7834-3
11	黒田清綱書簡	1	種子島時美宛	明治43年 12月22日		7.購	7834-9
12	高崎正風書簡	1	鎌田正夫宛	明治36年 2月5日	18×50	7.購	7834-10
13	八田知紀書簡	1	岩城三左衛門宛	2月15日	18×57	7.購	7834-11
14	伊東祐亨書簡	1	鎌田正夫宛	明治43年 11月7日	18×66.5	7.購	7834-13
15	郷土誌神山尋常高等小学校	1		明治43年 12月日	23.5×16	7.贈	7838-72
16	東京日日新聞	2		明治38年 2月7日	36×26	7.贈	7838-141

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
1	書簡	6	勝目清宛エアメール	昭和	10×15	7. 贈	7838-2
2	書簡	14	勝目清宛	昭和	13×9	7. 贈	7838-3
3	勝目清書簡	1	徳田伸吉宛	昭和	17.5×25	7. 贈	7838-4
4	池田清書簡	1	土谷久雄宛	昭和	25×30.3	7. 贈	7838-5
5	大山フク書簡	1	徳田富美宛	昭和	25×17.8	7. 贈	7838-6
6	南洲翁訪問旅日記	1		昭和14年 9月1日	22.6×15.2	7. 贈	7838-17
7	松ヶ岡開墾事暦	1		昭和 4年 7月28日	22.2×15.5	7. 贈	7838-21
8	上申書 大東	1		昭和 9年 10月31日	23.5×16.2	7. 贈	7838-46
9	上申書 池袋正鉄郎	1		昭和 8年 7月25日	23.5×16.2	7. 贈	7838-47
10	上申書	1		昭和 9年 3月13日	23.5×16.2	7. 贈	7838-48
11	上申書 古市栄司	1		昭和 9年 3月18日	23.5×16.2	7. 贈	7838-49
12	上申書 随筆 昨是今非	1		10月23日	23.5×16.2	7. 贈	7838-50
13	上申書 (一)	1		昭和 9年 6月20日	23.5×16.2	7. 贈	7838-51
14	上申書 (二)	1		昭和 9年 6月20日	23.5×16.2	7. 贈	7838-52
15	上申書	1			23.5×16.2	7. 贈	7838-53
16	上申書 須田太郎	1		昭和 9年 3月24日	23.5×16.2	7. 贈	7838-54
17	弟の観たる兄	1	古市學造		24.2×16.3	7. 贈	7838-55
18	獄中随感ものはな	1		昭和 9年 3月	23.5×16.3	7. 贈	7838-56
19	陳述事項覚書	1		昭和 年 3月17日	23.5×16.3	7. 贈	7838-57
20	申立書	1	黒澤大二		23.7×16	7. 贈	7838-58
21	皇国革正結命殺人事件の公判廷にて陳述せんとする要稿	1		昭和 9年 3月	23.7×16.2	7. 贈	7838-59
22	指宿温泉と名族揖宿氏勲功記	1		昭和17年 6月	21×15	7. 贈	7838-64
23	財団法人島津奨学資金創立十周年	1		大正 3年 10月31日	22.5×15.2	7. 贈	7838-65
24	島津齊彬言行録	1		昭和19年 11月5日	14.7×10.3	7. 贈	7838-69
25	吉野朝勤王家肝付兼重公誠忠事蹟	1		昭和10年 8月	21.5×14.7	7. 贈	7838-75

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
26	官幣大社霧島神宮	1		昭和14年 12月20日	22.5×15	7.贈	7838-76
27	水戸郷土読本	1		昭和 8年 9月	22.5×15	7.贈	7838-77
28	宮内大臣一木喜徳郎より	1		昭和 3年 11月1日	20.2×15.2	7.贈	7838-78
29	東伏見宮附宮内事務官高橋より	1		昭和 8年 3月29日	20.2×15.2	7.贈	7838-79
30	写真	15			7.7×11	7.贈	7838-80
31	牛島省三君追想録	1		昭和16年 12月31日	21×15	7.贈	7838-81
32	濱崎太平次正房紀功碑文	1		昭和 7年 6月15日	18.8×12.8	7.贈	7838-87
33	薩摩歌壇の研究	1		昭和 9年 8月15日	19×13.2	7.贈	7838-89
34	文之和尚傳	1		昭和 9年 10月25日	19×13	7.贈	7838-90
35	海上王濱崎太平次傳	1		昭和 9年 7月30日	22.3×15.1	7.贈	7838-91
36	文學研究	1		昭和 9年 1月	22.1×15	7.贈	7838-92
37	大道 7月號	1		昭和 2年 7月10日	22.2×15	7.贈	7838-95
38	後醍院真柱翁出處事蹟實録	1		昭和 4年 12月11日	22×15	7.贈	7838-96
39	武士道	1		昭和 4年 12月11日	19.7×12.5	7.贈	7838-97
40	薩摩琵琶について	1		昭和14年	24.3×17	7.贈	7838-109
41	旧四方限關係	3		昭和3年	54.5×39.6	7.贈	7838-189
42	神舞十二人剣舞について	1		昭和15年 11月	22×15.5	7.贈	7838-198
43	鹿児島県地図	1	1:300000	昭和10年	77×52.2	7.贈	7842-0
44	20万分1地形図(鹿児島)	1			46×58	7.贈	7851-0
45	屋久島地図	1	1:50000		79×89	7.贈	7852-0
46	鹿児島県管内図	1	1:200000		105×71.5	7.贈	7854-0
47	集成5万分1地形図(鹿児島第4号)	1	軍事秘密	昭和20年	78×109	7.贈	7857-0
48	集成5万分1地形図(開聞嶽第1号)	1	軍事秘密	昭和20年	78×109	7.贈	7858-0
49	集成5万分1地形図(鹿児島第2号)	1	軍事秘密	昭和20年	78×109	7.贈	7859-0
50	集成5万分1地形図(宮崎第4号)	1	軍事秘密	昭和20年	78×109	7.贈	7860-0

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
51	集成5万分1地形図(宮崎第3号)	1	軍事秘密	昭和20年	78×109	7.贈	7861-0
52	集成5万分1地形図(鹿児島第1号)	1	軍事秘密	昭和20年	78×109	7.贈	7862-0
53	集成5万分1地形図(鹿児島第3号)	1	軍事秘密	昭和20年	78×109	7.贈	7863-0
54	旧制高等学校インターハイ排球大会参加者名簿	11	第2回～第12回		18.2×25.7	7.贈	7864-0
55	鹿児島バレーボール概史(その1)戦前編	1			25.5×18	7.贈	7865-0
56	鹿児島市文化写真帳	1		昭和7年	18×29	7.贈	7866-0
57	書簡	109	勝目清宛	昭和	18.9×99.3	7.贈	7838-1
58	上下屋久宮林署庁舎落成記念写真	14		昭和	11×13.2	7.贈	7838-7
59	写真	6		昭和	19.8×15.5	7.贈	7838-8
60	書簡, メモ, 札状類	58		昭和	26×16.7	7.贈	7838-9
61	磯公園修繕関係書類	2		昭和	25.5×17.5	7.贈	7838-10
62	城山事件に関する声明書	1		昭和	25.5×17.5	7.贈	7838-11
63	開国百年記念文献展覧会写真	5		昭和	9×13	7.贈	7838-12
64	かごしま大学病院絵葉書	3		昭和	9×13	7.贈	7838-13
65	鹿児島市上水道拡張旧計画線路縦断面図	1		昭和	42×100	7.贈	7838-14
66	南九州郷土研究 第1号	1		昭和44年 7月10日	23.5×17	7.贈	7838-15
67	西郷南洲先生遺芳	1		昭和27年 12月1日	18.2×12.8	7.贈	7838-16
68	名刀と遺品が語る明治百年展	1		昭和43年 1月27日	26×18	7.贈	7838-18
69	敬天愛人 89号	1		昭和30年 8月24日	20.9×15	7.贈	7838-19
70	維新の一断片	1		昭和44年 1月2日	25×17.7	7.贈	7838-20
71	日本の教育者私学校の指導者としての西郷隆盛	1		昭和42年 2月日	20.2×15	7.贈	7838-22
72	敬天愛人 5号	1		昭和29年 5月24日	21×15.2	7.贈	7838-23
73	明治維新の民主主義者西郷隆盛	1		昭和43年 5月1日	25.9×18.5	7.贈	7838-24
74	西郷隆盛を語る	1		昭和41年 5月15日	18.3×12.8	7.贈	7838-25
75	郷土のあゆみ	1		昭和42年 11月日	15×9.7	7.贈	7838-26

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
76	鹿児島百年の百人	1		昭和43年 4月6日	21.5×15	7.贈	7838-27
77	庄内と大西郷	1		昭和39年 7月15日	21.3×14.6	7.贈	7838-28
78	三州談義	1		昭和43年 月20日	24.3×17.2	7.贈	7838-29
79	鹿児島紡績百年誌	1		昭和42年 5月26日	25.7×18	7.贈	7838-30
80	寺山自然公園の厚生的利用に関する調査研究	1		昭和41年 12月25日	25.6×18.3	7.贈	7838-31
81	西南の役従軍日記	1		昭和41年 11月日	25×17.4	7.贈	7838-32
82	「写された幕末」より西郷写真の註	1		昭和	21×14.9	7.贈	7838-33
83	西郷どんの肖像	1		昭和43年 5月16日	26×18.5	7.贈	7838-34
84	薩南学派と教育	1		昭和46年 3月	25×17.5	7.贈	7838-35
85	維新	1		昭和43年 10月23日	25.5×18.5	7.贈	7838-36
86	鹿児島県の郡名會於について	1		昭和35年 8月	26×18.5	7.贈	7838-38
87	シーボルト著 NIPPON	1		昭和42年 4月	19×13	7.贈	7838-39
88	西郷隆盛の死	1		昭和38年 1月5日	21×15	7.贈	7838-40
89	永井重輝先生とその門流	1		昭和43年 9月23日	21.3×15.7	7.贈	7838-41
90	旧学舎郷中名簿	1		昭和43年 2月	26×18.3	7.贈	7838-42
91	破魔投げ記念誌	1		昭和43年 1月15日	24.5×17.5	7.贈	7838-43
92	田中正造のことば	1		昭和42年 7月15日	15×10	7.贈	7838-44
93	平佐やき雑記	1		昭和42年 11月	22×15.3	7.贈	7838-45
94	川田神社調査誌	1		昭和43年 1月	26×18.2	7.贈	7838-60
95	蔣誘士畫冊	1		昭和31年 11月5日	30×20	7.贈	7838-61
96	ほさつ日新公	1		昭和42年 2月20日	21.2×15	7.贈	7838-62
97	桜雲洞詩鈔	1		昭和27年 8月	23.7×15.8	7.贈	7838-63
98	市議会調査月報	1		昭和35年 5月	24.5×17.5	7.贈	7838-66
99	薩摩の英学(二)	1			21.2×15.2	7.贈	7838-67
100	鹿児島市下水道平面図	1			121×93	7.贈	7838-68

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
101	故従一位大勲位鳥津公神道碑譯文	1			14.8×11.1	7.贈	7838-70
102	出水地方探訪のしおり	1		昭和43年 12月8日	25×18	7.贈	7838-71
103	わが郷土と歌道	1	森重道		25.7×18.3	7.贈	7838-73
104	大坂都市計画地域図	1			54×38.5	7.贈	7838-74
105	藩學思永館	1		昭和27年 10月23日	23.2×15.3	7.贈	7838-82
106	私が市長であつたら	1		昭和26年	24×17.5	7.贈	7838-83
107	薩藩の郷中教育	1		昭和42年 8月	21.4×15.2	7.贈	7838-84
108	鹿児島県の教育	1		昭和41年 11月3日	21.2×15	7.贈	7838-85
109	桜雲洞詩鈔	1		昭和27年 10月15日	23.7×15.8	7.贈	7838-86
110	五代友厚展	1		昭和45年 3月	18.2×13	7.贈	7838-88
111	日羅公御贈位請願趣意書	1		昭和37年 9月	23×17	7.贈	7838-93
112	始良郡史蹟案内	1			24.3×17.1	7.贈	7838-94
113	北方領土関係	6		昭和	25.7×18	7.贈	7838-98
114	郷友	4		昭和	25.8×18.2	7.贈	7838-99
115	明治百年関係資料（一）	28		昭和	26×18.2	7.贈	7838-100
116	鹿児島市史編纂関係資料	9		昭和	26×18.3	7.贈	7838-101
117	勝目清講演会資料	12		昭和	23×18.1	7.贈	7838-102
118	明治百年関係資料（二）	29		昭和	26×18.3	7.贈	7838-103
119	文藝春秋	1		昭和42年 2月1日	21×14.7	7.贈	7838-104
120	建国記念関係資料	26		昭和	17.9×25.2	7.贈	7838-105
121	高崎正風関係資料	13		昭和	21×15.2	7.贈	7838-106
122	クレスラー関係資料	14		昭和	10×15.1	7.贈	7838-107
123	酒すし NHK放送原稿	1		昭和36年 5月	22.7×18	7.贈	7838-108
124	笠野熊吉関係資料	5		昭和	25.4×17.3	7.贈	7838-110
125	鹿児島港陸上設備に関する件	1		昭和	23.8×16.5	7.贈	7838-111

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
126	支拂証券	8		昭和	23×18	7.贈	7838-112
127	上村日記授	1			23.2×18	7.贈	7838-113
128	勝目清メモ	25		昭和	22.5×17.3	7.贈	7838-114
129	玉利喜造教育論文写真	24		昭和	11.1×7.6	7.贈	7838-115
130	博物館設置についての陳情書	1		昭和42年 1月26日	26×17.5	7.贈	7838-116
131	インターアクト連絡協議会	1		昭和42年 8月18日	24.5×17.5	7.贈	7838-117
132	南洲翁遺訓の刊行趣意書	1		昭和40年 6月	26×18.2	7.贈	7838-118
133	大山綱彦家資料	1		昭和	27.7×20	7.贈	7838-119
134	書簡	13	勝目清宛	昭和	25×17.7	7.贈	7838-120
135	書簡	1	勝目清宛 葉書	昭和	14×9	7.贈	7838-121
136	日本歴史	1	昭和40年～41年	昭和	20.8×14.8	7.贈	7838-122
137	西郷と勝	1	新聞コピー	昭和	25.9×18	7.贈	7838-123
138	隼人舞発祥の碑資料	1		昭和	25.9×18.9	7.贈	7838-124
139	高崎正風翁京都滞在中の歌	1		昭和	25×17.5	7.贈	7838-125
140	横山安武関係資料	1		昭和	19.8×54.2	7.贈	7838-126
141	西郷関係資料	16			30.5×25.2	7.贈	7838-127
142	永野武平書簡コピー	3	堀内俊雄宛	昭和43年	25.8×36	7.贈	7838-128
143	西郷写真について	7		昭和	18×12.5	7.贈	7838-129
144	薩摩義士関係資料	10		昭和	25.3×17.5	7.贈	7838-130
145	蒲生町磨崖仏資料	1		昭和	26×36.5	7.贈	7838-131
146	東郷茂徳関係資料	2		昭和45年	20.8×14.8	7.贈	7838-132
147	薩摩藩主吉貴公の事蹟	1		昭和45年 7月	25×17.8	7.贈	7838-133
148	会津若松戊辰戦死墓関係資料	21		昭和	21.4×15.8	7.贈	7838-134
149	南洲翁と庄内	19		昭和	25.9×17.5	7.贈	7838-135
150	西郷隆盛の写真鑑別について	10		昭和	25.5×17.7	7.贈	7838-136

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
151	島津珍彦戸籍謄本	1			28×39	7.贈	7838-137
152	曾我どんの傘焼き	4		昭和	26.5×39	7.贈	7838-138
153	誓光寺遺跡と座禅石	4		昭和	26.5×39	7.贈	7838-139
154	小田原家関係資料	4		昭和	28.2×20	7.贈	7838-140
155	笑岳寺由緒墓	1		昭和	25.8×18.2	7.贈	7838-142
156	南洲翁遺訓	2		昭和46年 10月	24×16.5	7.贈	7838-143
157	鹿児島島の観光	1		昭和	18.7×19	7.贈	7838-144
158	皇太子殿下同妃殿下行啓誌	1			28×29.8	7.贈	7838-145
159	スクラップ帳	1			30×22.5	7.贈	7838-146
160	西南戦争関係資料	10			81×63.5	7.贈	7838-147
161	故平田貫一弔辞（園田竹次郎）	1		昭和46年 2月27日	18.2×26	7.贈	7838-148
162	時間帯図	1			63.5×89	7.贈	7838-149
163	鹿児島市都市計画予定区域図	1			63.5×89	7.贈	7838-150
164	県立公園関係資料	9		昭和27年	23×31	7.贈	7838-151
165	自治体警察関係資料	9	昭和28年、29年	昭和	26×18.5	7.贈	7838-152
166	建設交通委員会提出資料	2		昭和	25.5×17.5	7.贈	7838-153
167	教育委員会関係資料	3		昭和	17.8×25	7.贈	7838-154
168	蘭草加工工場関係資料	8	昭和25年、26年、27年	昭和	26×18.5	7.贈	7838-155
169	昭和三十年度公債関係資料	2		昭和	26.5×39	7.贈	7838-156
170	鹿児島市政関係資料	23		昭和	25.5×18	7.贈	7838-157
171	陳情資料	8		昭和26年	25.5×18	7.贈	7838-158
172	教委勤評資料	6	昭和32年、33年	昭和	26×18.2	7.贈	7838-159
173	貸金関係資料	44			25.5×17.9	7.贈	7838-160
174	保育所資料	8		昭和33年	25.2×17.8	7.贈	7838-161
175	県税務署資料	5		昭和25年	25.3×17.8	7.贈	7838-162

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
176	と畜場関係資料	11	昭和29年, 30年	昭和	26.5×18.4	7.贈	7838-163
177	県体育館資料	2		昭和	25.5×18.2	7.贈	7838-164
178	貸金手当関係	5		昭和	25×18	7.贈	7838-165
179	市中央市場資料	2	昭和10年, 19年	昭和	18×25	7.贈	7838-166
180	旧市警土地建物その他財産関係調書	2	昭和10年, 19年	昭和	18×25	7.贈	7838-167
181	道路新設関係資料	7		昭和	25.4×17.7	7.贈	7838-168
182	青年海外派遣資料	3		昭和	25.3×35.7	7.贈	7838-169
183	道路関係資料	18		昭和	35.3×25.7	7.贈	7838-170
184	桜島観測所関係資料	28		昭和30年 11月	26.6×19.5	7.贈	7838-171
185	岡野寛次履歴書	4		昭和	25×17.8	7.贈	7838-172
186	玉里邸敷地図	1		昭和	55×63	7.贈	7838-173
187	趣意書要望書	2		昭和37年 2月	25×17.5	7.贈	7838-174
188	出水市陳情書	1		昭和30年 8月4日	16.7×19.4	7.贈	7838-175
189	鹿児島市街路樹	1		昭和	25×18	7.贈	7838-176
190	スクラップ	5		昭和	27.3×20.6	7.贈	7838-177
191	鹿児島市地区改良計画の必要性について	1		昭和30年 8月	24.5×17.3	7.贈	7838-178
192	市立病院の経営分析	1		昭和28年 12月	25.3×18.5	7.贈	7838-179
193	雑	7			25.5×17.6	7.贈	7838-180
194	照国神社ロープウェイ関係資料	18		昭和38年	26×35.5	7.贈	7838-181
195	国旗掲揚推進協議会資料	6		昭和38年 10月	25.7×18.1	7.贈	7838-182
196	官報號外	1		昭和21年 2月17日	32×21.5	7.贈	7838-183
197	記録映画シナリオ	2		昭和	25.7×18	7.贈	7838-184
198	鴨池動物園内庭石資料	13		昭和	25.5×36.5	7.贈	7838-185
199	沖縄視察団資料	18		昭和31年 5月	26.8×20.3	7.贈	7838-186
200	島津斉彬関係書簡	2	大久保利謙	昭和42年	14.8×10	7.贈	7838-187

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
201	薩英戦争関係資料	3			18.1×25.8	7.贈	7838-188
202	薩摩の英学(一)	1			21.5×15.3	7.贈	7838-190
203	蒲生彦四郎について	1		昭和36年 11月	21.5×15.7	7.贈	7838-191
204	五代友厚小伝	1		昭和37年 7月8日	21.5×15.7	7.贈	7838-192
205	残夢筆記	2		昭和37年 4月21日	25.5×18	7.贈	7838-193
206	薩藩刊書年表	1			26×18.2	7.贈	7838-194
207	勝目清講演レジメ	1		昭和42年 8月18日	21×15.7	7.贈	7838-195
208	桐野利秋田盧碑の碑文	1		昭和27年 12月	26×36.5	7.贈	7838-196
209	かごしま案内	1			25.9×18.3	7.贈	7838-197
210	大黒寺堂宇維持金募集趣意書	1			25×17.9	7.贈	7838-199
211	鹿児島県地図	1	1:280000	昭和21年	53×56.5	7.贈	7841-0
212	鹿児島県全図	1	1:400000	昭和21年		7.贈	7843-0
213	5万分1地形図(出水)	1		昭和21年	46×58	7.贈	7844-0
214	5万分1地形図(牛深)	1		昭和21年	46×58	7.贈	7845-0
215	5万分1地形図(阿久根)	1		昭和21年	46×58	7.贈	7846-0
216	5万分1地形図(坊)	1		昭和33年	46×58	7.贈	7847-0
217	5万分1地形図(大口)	1		昭和33年	46×58	7.贈	7848-0
218	5万分1地形図(水俣)	1		昭和35年	46×58	7.贈	7849-0
219	5万分1地形図(枕崎)	1		昭和29年	46×58	7.贈	7850-0
220	5万分1地形図(種子島)	1		昭和21年	105.5×120	7.贈	7853-0
221	名瀬市街地図	1	1.430555556	昭和32年	80×54.5	7.贈	7855-0
222	名瀬市地図	1		昭和30年	54×75	7.贈	7856-0

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
①	島津家久書状	1	島津久慶宛	寛永 9年 5月9日	17.9×128	8.購	7871-0
②	島津家久書状	1	島津久慶宛	5月11日	18×22	8.購	7872-0
③	島津家久書状	1	島津久慶宛	寛永 9年 6月5日	35.3×52.9	8.購	7873-0
④	島津忠長書状	1	鎌田出雲守平田太郎左衛門尉宛	慶長 6年 2月8日	29.4×35.7	8.購	7874-0
⑤	島津久元・伊勢貞昌連署状	1	島津久慶宛	寛永10年 6月18日	30.9×46.6	8.購	7875-0
⑥	島津家久書状	1	島津久慶宛	寛永10年 10月5日	35.6×53	8.購	7876-0
⑦	島津光久書状	1	島津久慶宛	寛永10年 10月5日	34.9×52.6	8.購	7877-0
⑧	島津家久書状	1	島津久慶宛	寛永 9年 10月10日	39.9×56.7	8.購	7878-0
⑨	島津家久書状	1	おふくろ宛	11月20日	34.7×48.5	8.購	7879-0
⑩	島津家久書状	1	島津久慶宛	寛永10年 12月6日	35.7×52.3	8.購	7880-0
⑪	島津家久書状	1	おふくろ宛	寛永10年 12月7日	35.5×53	8.購	7881-0
⑫	島津家久書状	1	島津久慶宛	寛永10年 12月7日	35.7×52.5	8.購	7882-0
⑬	島津家久書状	1	島津久慶宛	寛永11年 2月28日	35.4×53	8.購	7883-0
⑭	島津家久書状	1	島津久慶宛	寛永11年 4月3日	35.7×52.6	8.購	7884-0
⑮	島津家久書状	1	おふくろ宛	寛永12年 5月14日	35.1×53	8.購	7885-0
⑯	島津家久書状	1	島津久慶宛	寛永12年 9月27日	35.8×55	8.購	7886-0
⑰	島津家久書状	1	島津久慶宛	寛永12年 10月11日	36.3×56.5	8.購	7887-0
⑱	島津家久書状	1	島津久慶宛	寛永13年 2月8日	35.6×52.5	8.購	7888-0
⑲	島津家久書状	1	霜州宛	2月9日	31.7×46.5	8.購	7889-0
⑳	島津家久書状	1	島津久慶宛	寛永15年 2月12日	35.8×53.7	8.購	7890-0
㉑	島津光久書状	1	島津久慶宛	寛永15年 9月23日	35.1×52.5	8.購	7891-0
㉒	島津光久書状	1	島津久慶宛	寛永16年 4月24日	35.3×47.5	8.購	7892-0
㉓	島津光久書状	1	島津久慶宛	寛永16年 11月15日	31.1×54.5	8.購	7893-0
㉔	島津光久覚書	1		2月5日	39.6×55	8.購	7894-0
㉕	島津光久書状	1	島津久慶宛	正保 3年 3月25日	36.4×54	8.購	7895-0

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年・方法	台帳番号
1	松方正義書簡	1	木場貞長宛	明治34年 12月22日	15.5×81	7.贈	7785-0
②	松方正義書簡	1	木場貞長宛	大正 2年 8月30日	19.5×114.5	7.贈	7786-0
3	松方正義書簡	1	木場貞長宛	1月26日	18×37.5	7.贈	7787-0
4	松方正義書簡	1	鹿児島造士会事務所宛	大正 2年 8月17日	19.5×46	7.贈	7788-0
5	樺山資紀書簡	1	木場貞長宛	明治35年 9月21日	18×77.5	7.贈	7789-0
6	樺山資紀書簡	1	木場貞長宛	大正 2年 9月22日	18×75	7.贈	7790-0
7	樺山資紀書簡	1	木場貞長宛	11月22日	18×36	7.贈	7791-0
8	樺山資紀書簡	1	木場貞長宛	12月1日	18×187	7.贈	7792-0
⑨	樺山資紀書簡	1	木場貞長宛	1月12日	19.5×61.5	7.贈	7793-0
10	森有礼書簡	1	木場貞長宛	7月30日	18×24.5	7.贈	7794-0
⑪	森有礼書簡	1	木場貞長宛	23日	18×53.5	7.贈	7795-0
12	森有礼書簡	1	木場貞長宛	28日	17.5×18	7.贈	7796-0
⑬	東郷平八郎書簡	1	木場貞長宛	大正 2年 1月13日	18×47	7.贈	7797-0
⑭	長谷場純孝書簡	1	木場貞長宛	明治44年 1月20日	19×64	7.贈	7798-0
15	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛	1月9日	18×101	7.贈	7799-0
16	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛	1月25日	18.5×115	7.贈	7800-0
17	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛	2月10日	17×66.5	7.贈	7801-0
18	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛	3月15日	18.5×62	7.贈	7802-0
19	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛	3月18日	18×80	7.贈	7803-0
20	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛	5月20日	17.5×79.5	7.贈	7804-0
21	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛	9月2日	18.5×86	7.贈	7805-0
22	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛	9日	17.5×24.5	7.贈	7806-0
23	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛	27日	18.5×86.5	7.贈	7807-0
⑳	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛		18.5×99.5	7.贈	7808-0
25	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛		18×102	7.贈	7809-0

番号	資 料 名	数量	摘 要	年 代	大 き さ	受入年-方法	台帳番号
26	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛		18×97.5	7.贈	7810-0
27	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛		18×88.5	7.贈	7811-0
28	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛		18×30.5	7.贈	7812-0
29	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛		18.5×141	7.贈	7813-0
30	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛		18.5×87.5	7.贈	7814-0
31	牧野伸顕書簡	1	木場貞長宛		18×90.5	7.贈	7815-0
㊸	伊藤博文書簡	1	木場貞長宛	5月9日	18×65	7.贈	7816-0
㊹	山県有朋書簡	1	木場貞長宛	2月4日	18.5×47	7.贈	7817-0
㊺	井上毅書簡	1	伊藤博文宛	明治26年 3月31日	19.5×103	7.贈	7818-0
35	佐々木八十八書簡	1	木場貞長宛	2月	19.5×11.5	7.贈	7819-0
㊻	蜂須賀茂韶書簡	1	木場貞長宛	1月25日	18.5×118.5	7.贈	7820-0
37	(久保田) 譲書簡	1	木場貞長宛	3月25日	18×96.5	7.贈	7821-0
38	(久保田) 譲書簡	1	木場貞長宛	7月6日	18×136	7.贈	7822-0
39	(林) 竹二書簡	1	木場貞長宛	5月4日	18×68.5	7.贈	7823-0
40	某書簡	1	木場貞長宛	2月29日	18.5×194	7.贈	7824-0
41	某書簡	1	木場貞長宛	11月5日	18.5×117.5	7.贈	7825-0
42	御内意の覚	1			16.5×160.5	7.贈	7826-0
43	封筒(別記)	4				7.贈	7827-0
44	文部委員会小委員会名簿	1			25.5×18	7.贈	7828-0
45	政務調査会各省別委員会の議事に関する申合 事項	1			25.5×18	7.贈	7829-0
46	政務調査会規程	1			25.5×18	7.贈	7830-0
47	懇談事項	1			25.5×18	7.贈	7831-0
48	大東亜建設審議に関する件	1		昭和17年 5月21日	25.5×18	7.贈	7832-0
49	委員会名簿	1			25×31	7.贈	7833-0

鹿児島県歴史資料センター黎明館

所蔵品目録 (Ⅻ) 文書 (4)

Collection Catalogue (Ⅻ) : Documents (4)

Kagoshima Prefectural Museum of Culture

REIMEIKAN 1997

編集・発行 鹿児島県歴史資料センター黎明館

鹿児島市城山5番1

電話 (099) 222-5100

平成9年3月31日

印刷 斯文堂株式会社

鹿児島市南栄3-1

電話 (099) 268-8211